



狛江市教育大綱

- ・ 第3期狛江市教育振興基本計画 実施計画

(令和3年度ローリング版)

令和3年7月

狛江市・狛江市教育委員会

■ 狛江市教育大綱・第3期狛江市教育振興基本計画 実施計画（令和3年度ローリング版）の概要

1. 計画の目的

この計画は、令和2年3月に狛江市教育委員会が策定した第3期狛江市教育振興基本計画（※狛江市教育大綱を兼ねる）に設定している施策を着実に推進していくために、狛江市教育委員会と教育機関（学校、公民館、図書館）が、当該年度の当初予算の内容をベースに取り組み内容とその手順を明らかにするもので、狛江市と狛江市教育委員会が連名で策定するものです。

2. 計画期間と計画の見直し

教育振興基本計画の計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5か年となりますが、本計画の計画期間は、令和3年度から令和5年度までとして3か年の取組内容を明示し、毎年度計画内容を見直すたびに計画期間を1年ずつ延伸します。この計画の見直しは、毎年度の予算編成において、市の財政状況や周辺環境の変化、事業の進捗度合いその他の理由により見直した事業展開（予定）を基に、その後の計画内容を見直すものです。

3. 計画の見方

項目コード・施策	施策の具体的内容・方向性・ねらい	計画期間終了時（令和6年度終了時点における到達目標）	前年度までの取組状況（簡易的な評価）
1-1-1	平和を願い、互いの生命や人格・人権を尊重し、他者を思いやる心をはぐくむ人権教育を推進します。		
この項目の担当課			
		担当課	学校教育課 教育支援課 指導室 社会教育課 公民館 図書館
施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい		計画期間終了時点における到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> 「人権を尊重しみんなが生きやすい狛江をつくる基本条例」を踏まえた人権教育の充実を目指し、人権尊重教育推進校での実績（平成31年度・令和2年度）を共有することや、人権教育研修をとおし、教員の指導力を向上させる。 多様性（ダイバーシティ教育）、社会的包摂性（ソーシャルインクルージョン）の理解促進、自尊感情・自己肯定感を高める教育活動を推進し、平和を願い、互いの生命や人格・人権を尊重し、他者を思いやる心をはぐくむ。 		<ul style="list-style-type: none"> 教員の人権感覚がますます高まることにより、各学校における人権教育の充実が図られている。 全児童・生徒が各種人権課題に関する正しい知識を身に付けるとともに、多様性や社会的包摂性の理解が促進され、自他共に大切にしようとする態度がはぐくまれている。 	
			前年度までの取組状況（成果）
			<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重教育推進校として狛江第一小学校がリーフレットを作成し、紙面発表を行った。人権教育推進委員会では、各学校の担当者が取組みについての発表を聞き、その後各学校の校内研修で狛江第一小学校の取組について伝達講習を行った。 コロナ禍における人権問題について考え、医療従事者に手紙を送る等の活動を行い他者理解に努めた。
取組内容			
R3	R4	R5	■ 関連する予算事業
(事業費 17,588 千円)	(事業費 17,588 千円)	(事業費 17,588 千円)	教育研究推進（指導室） 国際理解教育促進（指導室） いじめ問題等対策推進（指導室）
<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重教育研修 人権教育推進委員会 国際理解教育推進 いじめ問題対策推進 道徳教育推進協議会 青少年健全育成連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重教育研修 人権教育推進委員会 国際理解教育推進 いじめ問題対策推進 道徳教育推進協議会 青少年健全育成連絡会 	<ul style="list-style-type: none"> 人権尊重教育研修 人権教育推進委員会 国際理解教育推進 いじめ問題対策推進 道徳教育推進協議会 青少年健全育成連絡会 	

この項目の具体的な取組内容（年度ごと）

事業費（年度ごと、令和3年度は当初予算ベース。令和4年度以降は見込み）
事業に直接的に係る経費のみを計上し、人件費等は計上していない。

取組内容に関する予算事業名と所管課

4.個別施策一覧

基本方針	個別施策	コード	施策展開の方向性	担当課	頁
(1)生きる力をはぐくむ質の高い学校教育の推進	①生命と人格・人権を尊重する態度の育成	1-1-1	平和を願い、互いの生命や人格・人権を尊重し、他者を思いやる心をはぐくむ人権教育を推進します。	指導室	4
		1-1-2	道徳的な判断力や心情、実践意欲・態度の向上に資する道徳教育を推進します。	指導室	4
		1-1-3	いじめ防止や自殺対策に資する教育を推進します。	指導室	5
	②生涯に渡って生きて働く力の育成	1-2-1	新学習指導要領の主旨を踏まえた、確かな学力の定着と個々の能力の伸張を図ります。	指導室	5
		1-2-2	健康の保持・増進、体力の向上を図る教育を推進します。	学校教育課 指導室	6
		1-2-3	共に社会をつくり支える資質・能力の向上に資する教育を推進します。	指導室	7
		1-2-4	社会の変化に対応し、よりよい未来を自ら切り開く力をはぐくむ教育を推進します。	指導室	7
		1-2-5	学校内外における生活全般に関する安全教育をより一層推進します。	教育支援課 指導室	8
	③国際社会で活躍できる力の育成	1-3-1	グローバルに活躍できる資質・能力を伸ばす教育を推進します。	指導室	8
		1-3-2	日本や狛江市の伝統・文化の理解を促進し、国や郷土を愛する心の涵養を図ります。	指導室 社会教育課	9
		1-3-3	芸術や狛江らしい文化活動に身近に触れる機会を提供し、情操・芸術教育を推進します。	学校教育課 教育支援課 指導室 社会教育課	10・11
	(2)家庭・地域との協働による学校教育の推進	①開かれた学校づくり	2-1-1	教育活動について家庭・地域への適切な情報提供と丁寧な説明を行います。	学校教育課 指導室
2-1-2			学校評価を積極的に活用し、教育活動の改善・充実を図ります。	指導室	12
2-1-3			地域の特性を生かした協働のあり方を検討し、地域との連携・協働を推進します。	学校教育課 指導室 社会教育課	12
2-1-4			家庭の実情に合った協働のあり方を検討し、家庭と協働して生きる力をはぐくみます。	教育支援課 指導室	13
②家庭・地域の人材や教育資源の活用		2-2-1	専門家や地域人材の活用を図り、部活動をはじめとする教育活動等の充実や関係部局・機関との連携を推進します。	指導室 社会教育課	13・14
		2-2-2	地域の願いや子どもたちの声を生かした学校経営を推進します。	指導室 社会教育課	14
(3)教育環境の整備	①安心安全な学校生活のための環境整備	3-1-1	研修及び教育研究への支援を充実し、教員の資質・能力の向上を図ります。	教育支援課 指導室	15
		3-1-2	学校の創意を生かし、子どもや保護者、地域にとって魅力ある学校づくりを推進します。	指導室 社会教育課	15
		3-1-3	持続可能な学校指導体制づくりを推進します。	学校教育課 指導室	16
		3-1-4	児童・生徒の安全確保に向けた支援体制の充実を図ります。	学校教育課 社会教育課	16
		3-1-5	学校施設の計画的改修と修繕を推進します。	学校教育課 (施設課)	17
		3-1-6	安心安全な給食の提供に向けた取組みを推進します。	学校教育課	17

4.個別施策一覧

基本方針	個別施策	コード	施策展開の方向性	担当課	頁
(3)教育環境の整備	②学習環境の整備	3-2-1	情報機器やデジタル教材等を活用し、効果的な学習指導の充実を図ります。	指導室	18
		3-2-2	学校図書館の機能を強化・充実させ、市立図書館との積極的な連携を推進します。	指導室 図書館	18・19
	③個に応じた教育の実現に向けた環境整備	3-3-1	いじめ・不登校等に対する組織的な対応を推進します。	教育支援課 指導室	19
		3-3-2	外国籍や障がいのある子ども等支援が必要な児童・生徒への支援の充実を図ります。	学校教育課 教育支援課 指導室	20
		3-3-3	特別支援教育の環境整備を一層進め、個に応じた指導・支援の充実を図ります。	教育支援課 指導室	20
(4)生涯を通じた学習の充実	①学びの環境づくり	4-1-1	公民館の利用しやすい環境整備を進め、地域における学びや居場所の充実を図ります。	公民館	21
		4-1-2	地域の身近な場所で学ぶことができる環境の充実を図ります。	社会教育課 公民館 図書館	21・22
	②生涯を通じた学びの実現	4-2-1	世代を超えた交流や仲間づくり活動ができる機会の充実を図ります。	社会教育課 公民館	23
		4-2-2	図書館の利便性や利用率の向上を図るとともに、図書資料の充実・機能強化に向けた検討を行います。	図書館	24
	③学びを活かす機会の充実	4-3-1	市民が自らの経験を活かし、活躍できる仕組みを検討します。	社会教育課 公民館 図書館	24・25
	④スポーツへの参加機会の充実	4-4-1	スポーツを楽しむきっかけをつくるとともに、スポーツ活動への興味・関心を高め、参加と仲間づくりを推進します。	指導室 社会教育課	26
	⑤ライフステージに応じたスポーツの推進	4-5-1	障がい者スポーツを含めた生涯スポーツの推進を図り、体力向上や生きがいづくりにつなげます。	社会教育課	27
		4-5-2	個人や団体の育成、スポーツ指導員の資質向上を図るとともに、体育施設の計画的な改修等を行います。	社会教育課	27
(5)歴史への理解と継承	①歴史の継承・文化財の保存	5-1-1	狛江の歴史を身近に感じ、狛江への愛着や歴史に関心を持つきっかけづくりを行います。	指導室 社会教育課	28
		5-1-2	文化財等を適切に保管、継承しつつ、効果的に公開・活用できるような保管・展示場所の確保について、具体的に検討します。	社会教育課	29
	②文化財の活用の推進	5-2-1	誰もが狛江の歴史を身近に感じられるような取組みを推進します。	社会教育課	29
	③伝統文化の保存と活用	5-3-1	地域に伝わる文化を生かした事業を推進します。	社会教育課	30
「持続可能な社会」(SDGs)の実現に向けた取組み					31
参考資料					34

1-1-1	平和を願い、互いの生命や人格・人権を尊重し、他者を思いやる心をはぐくむ人権教育を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・「人権を尊重しみんなが生きやすい狛江をつくる基本条例」を踏まえた人権教育の充実を目指し、人権尊重教育推進校での実績（平成31年度・令和2年度）を共有することや、人権教育悉皆研修をととし、教員の指導力を向上させる。 ・多様性（ダイバーシティ教育）、社会的包摂性（ソーシャルインクルージョン）の理解促進、自尊感情・自己肯定感を高める教育活動を推進し、平和を願い、互いの生命や人格・人権を尊重し、他者を思いやる心をはぐくむ。	計画期間終了時点における到達目標 ・教員の人権感覚がいつそう高まることにより、各学校における人権教育の充実が図られている。 ・全児童・生徒が各種人権課題に関する正しい知識を身に付けるとともに、多様性や社会的包摂性の理解が促進され、自他共に大切にしようとする態度がはぐくまれている。	前年度までの取組状況（成果） ・人権尊重教育推進校として狛江第一小学校がリーフレットを作成し、紙面発表を行った。人権教育推進委員会では、各学校の担当者が取組みについての発表を聞き、その後各学校の校内研修で狛江第一小学校の取組について伝達講習を行った。 ・コロナ禍における人権問題について考え、医療従事者に手紙を送る等の活動を行い他者理解に努めた。
---	---	--

取組内容			■ 関連する予算事業	
R3 (事業費 17,588 千円)	R4 (事業費 17,588 千円)	R5 (事業費 17,588 千円)	教育研究推進（指導室） 国際理解教育促進（指導室） いじめ問題等対策推進（指導室）	
・人権尊重教育悉皆研修 ・人権教育推進委員会 ・国際理解教育推進 ・いじめ問題対策推進 ・道徳教育推進協議会 ・青少年健全育成連絡会	・人権尊重教育悉皆研修 ・人権教育推進委員会 ・国際理解教育推進 ・いじめ問題対策推進 ・道徳教育推進協議会 ・青少年健全育成連絡会	・人権尊重教育悉皆研修 ・人権教育推進委員会 ・国際理解教育推進 ・いじめ問題対策推進 ・道徳教育推進協議会 ・青少年健全育成連絡会		

1-1-2	道徳的な判断力や心情、実践意欲・態度の向上に資する道徳教育を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--------------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 道徳教育及び「特別の教科 道徳」の指導の充実や道徳授業地区公開講座の開催等をとおして、道徳的諸価値の理解をはじめ、道徳的な判断力や心情、実践意欲・態度の向上を図る。	計画期間終了時点における到達目標 道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習をとおして、児童・生徒の道徳的な判断力、心情、実践意欲・態度が向上している。	前年度までの取組状況（成果） 道徳地区公開講座について、新型コロナウイルス感染症の影響により7校は中止としたが、2校で実施、1校はオンラインで実施した。「特別の教科 道徳」での指導をとおして、道徳的な判断力や心情、実践意欲・態度の向上を図った。
--	--	--

取組内容			■ 関連する予算事業	
R3 (事業費 80 千円)	R4 (事業費 80 千円)	R5 (事業費 80 千円)	いじめ問題等対策推進（指導室）	
・道徳授業地区公開講座 ・いじめ問題対策推進	・道徳授業地区公開講座 ・いじめ問題対策推進	・道徳授業地区公開講座 ・いじめ問題対策推進		

1-1-3	いじめ防止や自殺対策に資する教育を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	-------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい <ul style="list-style-type: none"> 「狛江市いじめ防止基本方針」及び各学校のいじめ防止基本方針を基に、「いじめ」の理解、生命の尊さを学ぶ授業等を行うことをとおして、いじめや自殺の未然防止を図る。 hyper-QUをはじめ、各種アンケートの活用等により子どもが安心して生活できる学級・学校風土を創出する。 	計画期間終了時点における到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 適切な児童・生徒理解、SOSの出し方に関する教育の推進等により、自殺予防に努めており、児童・生徒の自殺が未然に防止されている。 いじめの未然防止を図り、hyper-QUにおける侵害行為認知群、不満足群・要支援群について、平成31年度を規準として、全体に占める割合が減少している。 	前年度までの取組状況（成果） <ul style="list-style-type: none"> いじめ問題対策委員会を2回実施し、弁護士や児童相談所、警察等を交えた意見交流を行い、いじめの未然防止について協議した。 hyper-QUの結果やコンサルティングの分析等により、侵害行為認知群、不満足群、要支援群の児童・生徒に対する適切な指導について検討した。
--	---	---

取組内容					■関連する予算事業			
R3	(事業費 4,593 千円)	R4	(事業費 4,593 千円)	R5	(事業費 4,593 千円)	特別支援教育推進（指導室） いじめ問題等対策推進（指導室）		
<ul style="list-style-type: none"> hyper-QUアンケート hyper-QU担当者会 授業コンサルティング 生活指導主任会 いじめ問題対策委員会 SOSの出し方に関する教育 	<ul style="list-style-type: none"> hyper-QUアンケート hyper-QU担当者会 授業コンサルティング 生活指導主任会 いじめ問題対策委員会 SOSの出し方に関する教育 	<ul style="list-style-type: none"> hyper-QUアンケート hyper-QU担当者会 授業コンサルティング 生活指導主任会 いじめ問題対策委員会 SOSの出し方に関する教育 						

1-2-1	新学習指導要領の主旨を踏まえた、確かな学力の定着と個々の能力の伸張を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい <ul style="list-style-type: none"> 全国標準学力調査（NRT）、全国学力・学習状況調査、hyper-QU等各種調査の結果を活用し、一人ひとりの子どもの能力を適切に把握し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善により、すべての子どもの学びを保障する。 新学習指導要領で育成を目指す「未知の問題にもチャレンジし、他者と協働して課題を解決する力」の育成や、プログラミング教育や笑育等の教科等横断的な学習の充実を図るため、カリキュラム・マネジメントの推進をとおして、確かな学力の定着と個々の能力の伸張を図る。 	計画期間終了時点における到達目標 <ul style="list-style-type: none"> すべての子どもの学びを保障する学習システムが構築されている。 全国学力・学習状況調査及び東京都の意識調査等における、新学習指導要領で育成を目指す資質・能力に関するアンケート内容について、肯定的な回答の割合が東京都及び全国平均を上回っている。 各学校がカリキュラム・マネジメントを確実に推進し、教科等横断的な学習が充実することによって、未知の問題にもチャレンジし、他者と協働して課題を解決する力の育成が図られている。 	前年度までの取組状況（成果） <ul style="list-style-type: none"> 全国標準学力調査（NRT）分析を実施し、過去3年の領域別の学力の変化について校長会等で資料を提供し、授業改善の参考資料とした。 新学習指導要領での確かな学力の定着と個々の能力の伸張を図るために、指導と評価の一体化に向け、適切な評価方法が実現できるよう学校で研修を行い、評価についての指導を行った。
--	--	--

取組内容					■関連する予算事業			
R3	(事業費 171,617 千円)	R4	(事業費 171,617 千円)	R5	(事業費 171,617 千円)	学力調査（指導室） 特別支援教育推進（指導室） 笑育（指導室） 教育研究推進（指導室） 情報教育推進（指導室）		
<ul style="list-style-type: none"> NRT、全国学力・学習状況調査 hyper-QUアンケート、hyper-QU担当者会 授業コンサルティング プログラミング教育 各種職層、年次研修 狛江の教育21研究協力校 狛江市教育研究奨励校 情報教育推進 	<ul style="list-style-type: none"> NRT、全国学力・学習状況調査 hyper-QUアンケート、hyper-QU担当者会 授業コンサルティング プログラミング教育 各種職層、年次研修 狛江の教育21研究協力校 狛江市教育研究奨励校 情報教育推進 	<ul style="list-style-type: none"> NRT、全国学力・学習状況調査 hyper-QUアンケート、hyper-QU担当者会 授業コンサルティング プログラミング教育 各種職層、年次研修 狛江の教育21研究協力校 狛江市教育研究奨励校 情報教育推進 						

1-2-2	健康の保持・増進，体力の向上を図る教育を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	----------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 新型コロナウイルス，インフルエンザ等の感染症に対し，その発生状況を把握しながら，適格かつ迅速に対応するとともに，これまでの対策等で得られた課題を整理し，今後の対応に生かすことで，子どもの安心安全な教育環境の確保を図る。 児童・生徒の健康診断データの蓄積等により，適切かつ継続的な対応につなげていく。	計画期間終了時点における到達目標 ・学校欠席者情報収集システムを活用することにより，地域全体での感染症の流行状況を把握し，早期に対応することが可能となっている。 ・学校健診情報を可視化することで，個人の健康増進に役立つとともに狛江市と他自治体との傾向を比較し，特色に応じた保健指導が可能となっている。	前年度までの取組状況（成果） ・全校で学校欠席者情報収集システム（インフルエンザ等罹患状況）の運用を開始し，併せて学校医及び狛江市医師会と情報を共有した。 ・一般社団法人健康・医療・教育情報評価推進機構と連携し，中学3年生の義務教育9年間の学校健診情報のデータ化，個人レポートの還元，自治体レポートの学校への提供を行った。 ・感染症の発生時には保健所と学校医の指導の基に適切な対応を行った。また，感染症予防対策として，全児童・生徒へ机用のパーテーションを配備するとともに，併せて各校に必要な物品を購入した。
--	---	---

取組内容			■ 関連する予算事業
R3 (事業費 4,825 千円)	R4 (事業費 0 千円)	R5 (事業費 0 千円)	学校保健衛生費（学校教育課）
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策のまとめ，ローリング ・学校欠席者情報収集システムの運用 ・健康診断結果のデータ化 ・感染症対策用消耗品・備品等の配備 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策のローリング ・学校欠席者情報収集システムの運用 ・健康診断結果のデータ化 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策のローリング ・学校欠席者情報収集システムの運用 ・健康診断結果のデータ化 	

1-2-2	健康の保持・増進，体力の向上を図る教育を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	----------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・体育・保健体育指導の充実を図る研修会による教員の指導力向上を図り，自己の運動習慣，健康状況の理解等，健康の保持・増進，体力の向上を図る。 ・栄養教諭（栄養士）と学級担任の連携及び農家の方等，地域の人材を活用し，食に関する指導を充実させ，子どもが生涯にわたって健やかに生きるための基礎を培う。 ・アスリートの招へいや交流をとおした，オリンピック・パラリンピック教育における学校レガシー（スポーツ志向）を構築する。	計画期間終了時点における到達目標 ・国及び都の生活・運動習慣等に関する調査項目の中で，一日の運動時間，運動の好き嫌い，朝食の摂取等の項目について，平成31年度の数値を基準に，それぞれの数値が改善され，継続的に運動に取り組む児童・生徒が増加している。 ・各学校において，年間計画に基づき，食に関する指導が確実に実施されている。 ・オリンピック・パラリンピック教育における学校レガシー（スポーツ志向）を糧として，豊かなスポーツライフの基礎が培われている。	前年度までの取組状況（成果） ・パラスポーツ，障がい者スポーツの指導者による講話とポッチャの実技体験会を実施した。 ・がん教育として，がん経験者やがん専門家による講話をとおして，健康についての理解を図った。 ・食に関する指導ではTeamsを活用し，給食センターと対話したり，外部講師と繋がり稲作に関する講話をしてもらったりする等の活動を行った。
--	---	--

取組内容			■ 関連する予算事業
R3 (事業費 5,614 千円)	R4 (事業費 151 千円)	R5 (事業費 151 千円)	オリンピック・パラリンピック教育推進（指導室） 教育研究推進（指導室） 体力向上推進（指導室）
<ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック教育 ・各種職層，年次研修 ・がん教育 ・地域人材等を活用したがん教育・食に関する指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種職層，年次研修 ・がん教育 ・地域人材等を活用したがん教育・食に関する指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種職層，年次研修 ・がん教育 ・地域人材等を活用したがん教育・食に関する指導 	

1-2-3	共に社会をつくり支える資質・能力の向上に資する教育を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	----------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・キャリア教育、主権者教育等の充実を図り、社会的・職業的自立に向けた能力・態度を育成し、共に社会をつくり支える資質・能力の向上を目指す。 ・プログラミング教育や笑育等の体験的かつ教科等横断的な学習の充実を図り、新学習指導要領が目指す「他者と協働して課題を解決する力」の育成を目指す。 ・ボランティア活動とおとした、オリンピック・パラリンピック教育における学校レガシー（ボランティア・マインド）を構築する。 ・世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し国際的な視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与できる資質・能力の育成を目指す。	計画期間終了時点における到達目標 ・子どもが自らの力で生き方を選択していくことができるよう、キャリア発達を支援し、自分が自分として生きるための願いを実現させようとする態度がはぐくまれている。 ・子どもが主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら社会を生き抜く力や、社会の構成員の一人として課題を解決できる力が身に付いている。 ・オリンピック・パラリンピック教育における学校レガシー（ボランティア・マインド）を糧として、共に社会をつくり支える資質・能力がはぐくまれている。 ・他国を尊重し国際的視野に立って世界の平和と人類の発展に貢献しようとする資質・能力がはぐくまれている。	前年度までの取組状況（成果） ・キャリア教育としては、新型コロナウイルス感染症の影響により職場体験は中止とした。キャリア・パスポートは、小・中間、中・高間で連携を図った。 ・教員が児童・生徒にTeams上に課題を与え、児童・生徒はTeams上での対話をとおり、協働して課題解決を図った。 ・オリンピック・パラリンピック教育では、全校で5つの資質の中のボランティアマインドの育成を図るための活動を行った。
--	--	---

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 10,013 千円) ・キャリア教育（職場体験，キャリア・パスポート） ・主権者教育推進 ・オリンピック・パラリンピック教育 ・プログラミング教育 ・道徳教育 ・笑育	R4 (事業費 4,550 千円) ・キャリア教育（職場体験，キャリア・パスポート） ・主権者教育推進 ・プログラミング教育 ・道徳教育 ・笑育及び笑育の効果検証	R5 (事業費 4,550 千円) ・キャリア教育（職場体験，キャリア・パスポート） ・主権者教育推進 ・プログラミング教育 ・道徳教育 ・笑育及び笑育の効果検証	主権者教育推進（指導室） オリンピック・パラリンピック教育推進（指導室） 情報教育推進費（指導室） 笑育（指導室）

1-2-4	社会の変化に対応し、よりよい未来を自ら切り開く力をはぐくむ教育を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・「持続可能な社会」（SDGs）の達成に向けて「持続可能な開発のための教育」（ESD）をとおして、環境、貧困、人権、平和、開発等の様々な問題の解決につながる、新たな価値観や行動を生み出す力や、「持続可能な社会」を創造する力をはぐくむ。 ・各教科等の学習及び環境政策課作成の「こまえ 生物多様性ワークブック」の活用をおして、環境保全の重要性の理解を深められるようにする。 ・「笑育」では、笑いを表出する過程で自己肯定感を高めたり、人と関わる気持ちをはぐくむことで、良好な人間関係を構築する資質・能力の基礎を培う。	計画期間終了時点における到達目標 ・児童・生徒に、生命や自然に対する感受性や、身近な環境から地球規模の環境へとつなげる豊かな想像力、それを大切にする態度が養われている。 ・一人ひとりの児童・生徒が自分のよさや可能性を認識できることにより自己肯定感が高まり、人と関わる気持ちをはぐくみ、良好な人間関係が築けている。	前年度までの取組状況（成果） ・小・中学校の令和3年度の教育課程において、SDGsへの取組みについて明記し、学校全体として諸課題への取組みを行うこととした。 ・環境政策課が中心となり、小教研理科部の協力を得ながら「こまえ生物多様性ワークブック」を作成・配布した。 ・笑育について、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は中止した。
---	---	---

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 2,805 千円) ・多摩川や野川等の活用 ・学校の環境配慮型施設の活用 ・環境政策課との連携（生物多様性に関する小学校副読本活用，環境サミット） ・笑育	R4 (事業費 2,805 千円) ・多摩川や野川等の活用 ・学校の環境配慮型施設の活用 ・環境政策課との連携（生物多様性に関する小学校副読本活用，環境サミット） ・笑育及び笑育の効果検証	R5 (事業費 2,805 千円) ・多摩川や野川等の活用 ・学校の環境配慮型施設の活用 ・環境政策課との連携（生物多様性に関する小学校副読本活用，環境サミット） ・笑育及び笑育の効果検証	笑育（指導室）

1-2-5	学校内外における生活全般に関する安全教育をより一層推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい	計画期間終了時点における到達目標	前年度までの取組状況（成果）
<ul style="list-style-type: none"> 各学校においてセーフティ教室の実施，SNS東京ノートの活用等を推進するとともに，生活指導主任会で各種の安全教育に関する情報交換・協議等をおし，災害や事故等の発生・対処の理解，インターネット・SNS等の利用によるトラブル，犯罪防止等，学校内外における生活全般に関する安全教育を充実させる。 狛江市の地域特性に基づく水害等の歴史とともに，子どもが風水害のリスクを正しく理解し，いざというときに適切な防災行動をとれるよう，「東京マイ・タイムライン」等を活用した防災教育を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての児童・生徒に対し，日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解させ，自他の生命尊重を基盤として，生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培われている。 適切な防災行動に基づき，進んで安全で安心な社会づくりに貢献しようとする資質・能力がはぐくまれている。 	<ul style="list-style-type: none"> 狛江第五小学校においてセーフティ教室を実施し，災害や事故等の発生時の行動や，インターネット・SNS等の利用によるトラブルに関する理解，犯罪の未然防止等，学校内外における生活全般に関する安全教育を充実させた。 学校と家庭の連携推進員を小学校に10人，延べ時間数1517.5時間，中学校に4人，延べ時間数725.75時間派遣し，児童・生徒の問題行動の改善や未然防止に努めた。 東京マイ・タイムラインを活用し，適切な防災行動がとれるよう，家庭と協力して防災教育を推進した。

取組内容					■ 関連する予算事業			
R3	(事業費 4,397 千円)	R4	(事業費 7,189 千円)	R5	(事業費 4,397 千円)			
<ul style="list-style-type: none"> 生活指導主任会 セーフティ教室 青少年健全育成連絡会 学校と家庭の連携推進 東京マイ・タイムライン 社会科副読本 	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導主任会 セーフティ教室 青少年健全育成連絡会 学校と家庭の連携推進 東京マイ・タイムライン 社会科副読本 	<ul style="list-style-type: none"> 生活指導主任会 セーフティ教室 青少年健全育成連絡会 学校と家庭の連携推進 東京マイ・タイムライン 社会科副読本 	<ul style="list-style-type: none"> 教育研究推進（指導室） 副読本関係費（指導室） 学校と家庭の連携推進（教育支援課） 					

1-3-1	グローバルに活躍できる資質・能力を伸ばす教育を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	-------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい	計画期間終了時点における到達目標	前年度までの取組状況（成果）
<ul style="list-style-type: none"> 東京グローバルゲートウェイ（TGG）の活用，オンラインスピーキングトレーニングの実施，海外学校等との交流，オリンピック・パラリンピック教育（豊かな国際感覚）等をおとして，外国語教育の充実とコミュニケーション能力の向上を図る。 生徒とオンラインでスピーキングトレーニングができるように，外国語指導助手（ALT等）と教員が共同でデジタルコンテンツを作成（Youtube等）し，生徒のコミュニケーション能力をはぐくむ。 グローバルに活躍できる資質・能力をはぐくむため，子どもが各取組みを自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら，見通しをもったり振り返ったりする機会を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が外国語教育に関心を持ち，自らがコミュニケーション能力等が養われている。 デジタルコンテンツの利用によって，生徒のコミュニケーション能力がはぐくまれている。 子どもが各取組みをおとして，グローバル人材としての将来の生活や社会，職業等との関連を意識し，自己の生き方についての関心を高めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により，東京グローバル・ゲートウェイ（TGG）を活用することができなかった。 オンラインスピーキングトレーニングを全中学校に展開した。生徒一人ひとりが英語を母語とする講師とオンラインで対面で繋がり，自らの英語力を活用してコミュニケーション能力を育む活動を行った。

取組内容					■ 関連する予算事業			
R3	(事業費 21,243 千円)	R4	(事業費 15,780 千円)	R5	(事業費 15,780 千円)			
<ul style="list-style-type: none"> 東京グローバル・ゲートウェイ オンライン・スピーキング・トレーニング オリンピック・パラリンピック教育 外国語指導助手の派遣，派遣内容の検討 キャリア教育 	<ul style="list-style-type: none"> 東京グローバル・ゲートウェイ オンライン・スピーキング・トレーニング 外国語指導助手の派遣，検討に基づいた派遣 キャリア教育 	<ul style="list-style-type: none"> 東京グローバル・ゲートウェイ オンライン・スピーキング・トレーニング 外国語指導助手の派遣，検討に基づいた派遣 キャリア教育 	<ul style="list-style-type: none"> 国際理解教育促進（指導室） オリンピック・パラリンピック教育推進（指導室） 					

1-3-2	日本や狛江市の伝統・文化の理解を促進し、国や郷土を愛する心の涵養を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・自分たちが生まれ育った町に対して誇りをもち、住み続けたいと思える町づくりに、将来貢献できる資質・能力を身に付けるため、地域のよさや特徴について、地域の人たちとの交流を通じて、その未来像を考える態度を養う。 ・社会科副読本「わたしたちの狛江市」の活用や、生活科、社会科、総合的な学習の時間を中心とした地域学習をとおして、日本や狛江市の伝統・文化の理解を促進し、国や郷土を愛する心の涵養を図る。 ・社会科副読本「わたしたちの狛江市」について毎年改訂を行うとともに、適切に指導できるよう教員向け資料を作成する。 ・絵手紙を作成することをとおして絵手紙を知ることや、狛江市の絵手紙の歴史についても学習することで、狛江市の伝統・文化を理解しながら狛江市に対する郷土愛をはぐくむ。	計画期間終了時点における到達目標 ・児童・生徒が、自分たちが暮らす狛江市に関する探究的な学習に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために積極的に社会に参画しようとしている。 ・児童・生徒自らが狛江市の地理や歴史に興味を抱き、自分で調べたことやおしながら地域との連携を図って情報を収集した上で、調べたことや自分の考えを市内学校等に発信できる力がはぐくまれている。 ・絵手紙について学習することで、狛江市の伝統・文化を理解しながら狛江市に対する郷土愛がはぐくまれている。	前年度までの取組状況（成果） ・小学校では社会科副読本を活用し、狛江の歴史や文化について考察した。また、社会科副読本「わたしたちの狛江市」を改訂し、小学校へ配布した。新型コロナウイルス感染症の影響で社会科見学等で活用することはできなかった。 ・小学校では医療従事者に向けて励ましのエール等の絵手紙を作成し、医療従事者に届けた。絵手紙の作成をとおして絵手紙の歴史やよさに触れながら、医療従事者へメッセージも届けることができた。
--	---	---

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 0 千円) ・特色ある教育活動（各学校） ・教務主任会（カリキュラム・マネジメント） ・社会科副読本「わたしたちの狛江市」 ・絵手紙教室 ・コマエ×コドモ×ミライ（未来戦略室）	R4 (事業費 1,952 千円) ・特色ある教育活動（各学校） ・教務主任会（カリキュラム・マネジメント） ・社会科副読本「わたしたちの狛江市」 ・絵手紙教室 ・コマエ×コドモ×ミライ（未来戦略室）	R5 (事業費 0 千円) ・特色ある教育活動（各学校） ・教務主任会（カリキュラム・マネジメント） ・社会科副読本「わたしたちの狛江市」 ・絵手紙教室 ・コマエ×コドモ×ミライ（未来戦略室）	副読本関係費（指導室）

1-3-2	日本や狛江市の伝統・文化の理解を促進し、国や郷土を愛する心の涵養を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 小学校への出前学習や小学生を対象とした古民家園における体験学習、小・中学生を対象とした文化財ガイドの作成・配布を通じて、次世代を担う子どもたちに、狛江の歴史や文化財に触れる機会を提供していく。	計画期間終了時点における到達目標 市内の子どもたちの市の歴史や文化財等に対する関心がより高まっている。	前年度までの取組状況（成果） 新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校への出前学習や古民家園での体験学習を休止したが、こまえ文化財ガイド1～3を例年どおり作成し、小学校3・6年生、中学校1年生の全児童・生徒に配布した。また、平成31年度に作成した狛江市文化財散策マップを郷土学習での活用案内を付して小・中学校の全児童・生徒に配ることで、狛江の歴史や文化財に触れる機会を提供した。
--	---	---

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 220 千円) ・こまえ文化財ガイドの作成・配布 ・小学校への出前学習 ・小学生対象の体験学習の実施	R4 (事業費 220 千円) ・こまえ文化財ガイドの作成・配布 ・小学校への出前学習 ・小学生対象の体験学習の実施	R5 (事業費 220 千円) ・こまえ文化財ガイドの作成・配布 ・小学校への出前学習 ・小学生対象の体験学習の実施	文化財保護関係費（社会教育課）

1-3-3	芸術や狛江らしい文化活動に身近に触れる機会を提供し、情操・芸術教育を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい プロのアーティストを市立小学校へ派遣しワークショップやミニコンサート等身近で迫力ある音楽に触れる機会を提供する音楽体験事業（アウトリーチ）と、派遣したアーティストが市民ホール等で開催する特別公演（ガラコンサート）を一体的に実施することで、音楽の素晴らしさを伝えるとともに、学習意欲の向上、豊かな情操を培う。さらに小・中学校が保有する楽器を計画的に修繕・整備し、各学校の音楽の授業や鼓笛隊、ブラスバンド、吹奏楽部等の活発な取組みを促す。	計画期間終了時点における到達目標 音楽体験授業（アウトリーチ）及び特別公演（ガラコンサート）等が定例的に実施されるとともに、計画的に楽器整備やメンテナンスが適切に実施されている。	前年度までの取組状況（成果） 音楽体験授業について、プロの音楽家が各小学校を訪問するアウトリーチ活動を全小学校4年生に対して実施した。また、ゆうゆう教室に通う児童・生徒を対象に実施し、小学生4人、中学生1人が参加した。12月21日にはガラコンサートとして、アウトリーチ活動に参加した音楽家による集大成となるコンサートをエコルマホールで実施した。音楽ホールという重厚な環境の中で鑑賞することで、児童にクラシック音楽の素晴らしさを伝えるとともに、アウトリーチ活動と連携したプログラムを企画することにより、学習意欲向上等の相乗的な効果があった。
---	---	---

取組内容					■ 関連する予算事業
R3	(事業費 3,034 千円)	R4	(事業費 9,221 千円)	R5	(事業費 9,221 千円)
<ul style="list-style-type: none"> 音楽鑑賞会の実施 (エコルマホール工事中のため、音楽体験授業(アウトリーチ)及び特別公演(ガラコンサート)の実施方法変更) 連合音楽会 楽器修繕, 方向性に基づく対応 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽体験授業(アウトリーチ)及び特別公演(ガラコンサート)の実施 音楽鑑賞教室 連合音楽会 楽器修繕, 方向性に基づく対応 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽体験授業(アウトリーチ)及び特別公演(ガラコンサート)の実施 音楽鑑賞教室 連合音楽会 楽器修繕, 方向性に基づく対応 	教育振興費(学校教育課) 不登校対策支援(教育支援課) 連合行事・音楽鑑賞関係費(指導室)		

1-3-3	芸術や狛江らしい文化活動に身近に触れる機会を提供し、情操・芸術教育を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 芸術、絵手紙教室等の実施をとおして、狛江らしい文化活動に身近に触れる機会を提供し、情操・芸術教育の充実を図る。また、特別支援学級連合展覧会や東京都公立美術展覧会の機会を通じて、作品・創作物を発信・発表する場や機会を提供していく。	計画期間終了時点における到達目標 多様な表現や鑑賞の活動等が継続され、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育が充実している。	前年度までの取組状況（成果） ・小学校では医療従事者に向けて励ましのエール等の絵手紙を作成し、医療従事者に届けた。絵手紙の作成をとおして絵手紙の歴史やよさに触れながら、医療従事者へメッセージも届けることができた。
--	---	--

取組内容					■ 関連する予算事業
R3	(事業費 228 千円)	R4	(事業費 228 千円)	R5	(事業費 228 千円)
<ul style="list-style-type: none"> 絵手紙教室 特別支援学級連合展覧会 東京都公立美術展覧会への展示 	<ul style="list-style-type: none"> 絵手紙教室 特別支援学級連合展覧会 東京都公立美術展覧会への展示 	<ul style="list-style-type: none"> 絵手紙教室 特別支援学級連合展覧会 東京都公立美術展覧会への展示 	特別支援教育推進(教育支援課) 指導一般事務費(指導室)		

1-3-3	芸術や狛江らしい文化活動に身近に触れる機会を提供し、情操・芸術教育を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 地域の人材を活用した地域学校協働活動として市民活動支援センター（こまえくぼ1234）と連携し、地域の人材の発掘・育成を進め、学校をはじめとした教育分野における地域人材の活用を推進する。	計画期間終了時点における到達目標 地域人材を活用した文化・芸術の特別授業の提供や、事業実施時のサポート体制が整備されている。	前年度までの取組状況（成果） ・令和2年度より、地域学校協働推進事業を立ち上げた。市内小・中学校へアンケート及びヒアリングを実施するとともに、市民活動支援センター（こまえくぼ1234）と連携して市内企業等を訪問し、協力依頼や事業の打合せを行った。 ・事業に協力いただいた企業による出前授業等を3回実施した。
--	--	--

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 1,388 千円)	R4 (事業費 1,388 千円)	R5 (事業費 1,388 千円)	地域学校協働活動推進事業（社会教育課）
地域学校協働活動推進事業	地域学校協働活動推進事業	地域学校協働活動推進事業	

2-1-1	教育活動について家庭・地域への適切な情報提供と丁寧な説明を行います。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	------------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・教育委員会広報誌「ガク☆チキ」などの各種広報やホームページの充実、学校経営目標の明確化と地域への説明など、教育活動について家庭・地域への適切な情報提供と丁寧な説明を行う。 ・学校や教育活動をより興味を持ってもらえるような内容で発信することにより、家庭・地域への理解や連携・協働を促進する。	計画期間終了時点における到達目標 ・編集委員会方式によるガク☆チキが継続発行（年2回）され、配布場所が増設されているとともに、全小・中学校の紹介終了している。 ・教育委員会及び学校ホームページの機能充実及び定期的な情報発信が行われ、平成31年度を基準に閲覧数が増加している。	前年度までの取組状況（成果） ・教育委員会広報誌ガク☆チキについて、新型コロナウイルス感染症の影響により取材等が行えず、2回の発行予定が1回となった。多くの市民に手に取ってもらえるよう、新聞折り込みや各小中学校を通じた配布に加え、中央公民館や西河原公民館、あいとびあセンター、小田急線狛江駅・喜多見駅・和泉多摩川駅にも設置した。 ・休校期間中に児童・生徒の学習を保障するため、全小・中校の学校のホームページで学習動画を配信した。また、学校行事を学校からオンラインで配信することで、家庭の協力を得ながら学校教育の理解を深めた。
--	--	---

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 3,117 千円)	R4 (事業費 3,117 千円)	R5 (事業費 3,117 千円)	教育広報関係費（学校教育課） 指導一般事務費（指導室）
・教育委員会広報誌ガク☆チキの発行 ・市ホームページや教育委員会ホームページの活用 ・各学校におけるホームページの活用（教育活動の紹介、動画によるメッセージ配信等） ・配布場所増設の検討 ・「狛江市の特色ある学校教育事業」リーフレット	・教育委員会広報誌ガク☆チキの発行 ・市ホームページや教育委員会ホームページの活用 ・各学校におけるホームページの活用（教育活動の紹介、動画によるメッセージ配信等） ・「狛江市の特色ある学校教育事業」リーフレット	・教育委員会広報誌ガク☆チキの発行 ・市ホームページや教育委員会ホームページの活用 ・各学校におけるホームページの活用（教育活動の紹介、動画によるメッセージ配信等） ・「狛江市の特色ある学校教育事業」リーフレット	

2-1-2	学校評価を積極的に活用し、教育活動の改善・充実を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	-------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営連絡協議会、第三者評価委員会、学校評価等を積極的に活用し、学校運営の改善と発展を目指し、教育活動の改善・充実を図る。 ・各学校がカリキュラム・マネジメントを確立させ、組織的かつ計画的に、各種の教育課題への対応を図ることをとおして、教育活動の質を向上させる。 	計画期間終了時点における到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営連絡協議会、第三者評価委員会、学校評価等の意見、助言を反映した教育課程の編成等がより効果的に行われ、それぞれの改善点について学校が論理的に説明できる。 ・各学校が「教科等横断的な学習」、「PDCAサイクルの確立と活用」に基づいた教育活動の質的向上、「物的・人的資源の活用」を柱としたカリキュラム・マネジメントを推進している。 	前年度までの取組状況（成果） <ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価委員会の評価（対象校：狛江第三小学校・狛江第六小学校・和泉小学校・狛江第二中学校・狛江第三中学校）に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響により、学校経営状況がわかる動画及び資料を提示するとともに、学校訪問の代替として授業動画を提供し、学校運営の改善と教育活動の改善・充実を図るための意見や指摘をいただいた。 ・教務主任会において、予めテーマを設定して情報交換を行い、各校が組織的かつ計画的に様々な教育課題への対応を図ることができるよう努めた。
--	---	--

取組内容			■ 関連する予算事業	
R3 (事業費 1,544 千円)	R4 (事業費 944 千円)	R5 (事業費 944 千円)	学校運営改善・発展のための事業（指導室） 教育研究推進（指導室）	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営連絡協議会 ・第三者評価委員会 ・学校評価 ・狛江の教育21研究協力校（一中） ・教務主任会 ・教育研究推進（図書） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営連絡協議会 ・第三者評価委員会 ・学校評価 ・教務主任会 ・教育研究推進（図書） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営連絡協議会 ・第三者評価委員会 ・学校評価 ・教務主任会 ・教育研究推進（図書） 		

2-1-3	地域の特性を生かした協働のあり方を検討し、地域との連携・協働を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---------------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材を活用した地域学校協働活動として市民活動支援センター（こまえくぼ1234）と連携し、地域の人材の発掘・育成を進め、学校をはじめとした教育分野における地域人材の活用を推進する。 ・地域学校協働活動推進事業の活用や学校運営連絡協議会、育成会、PTAとの連携など、地域の特性を生かした協働のあり方を検討し、地域との連携・協働を推進する。 ・コミュニティ・スクールの取組みを研究し、今後の地域の人材を活用した学校運営のあり方を検討する。 	計画期間終了時点における到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進事業が全校展開され、各学校の全学年において地域と連携した取組みが行われている。 ・地域人材等を外部講師として活用した特別授業のパッケージを取り揃えて各校へ提供し、利用されている。 ・義務教育9年間の一貫した教育を目指し、小中連携がより一層進展し、教育活動が展開されている。 	前年度までの取組状況（成果） <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度より、地域学校協働推進事業を立ち上げた。市内小・中学校へアンケート及びヒアリングを実施するとともに、市民活動支援センター（こまえくぼ1234）と連携して市内企業等を訪問し、協力依頼や事業の打合せを行った。 ・事業に協力いただいた企業による出前授業等を3回実施した。 ・コミュニティ・スクール制度の導入検討を行うに当たって、地域学校連携支援マネージャー配置等の準備を行った。
--	--	---

取組内容			■ 関連する予算事業	
R3 (事業費 3,978 千円)	R4 (事業費 3,978 千円)	R5 (事業費 3,978 千円)	一般事務費（学校教育課） 学校運営改善・発展のための事業（指導室） 地域学校協働活動推進事業（社会教育課）	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進事業 ・学校運営連絡協議会 ・地域学校協働活動の推進 ・センター方式での外部講師による特別授業の提供 ・コミュニティ・スクール制度の導入の検討（地域学校連携支援マネージャーの配置、庁内検討委員会の設置等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進事業 ・学校運営連絡協議会 ・地域学校協働活動の推進 ・センター方式での外部講師による特別授業の提供 ・検討を踏まえたコミュニティ・スクール制度の導入 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進事業 ・学校運営連絡協議会 ・地域学校協働活動の推進 ・センター方式での外部講師による特別授業の提供 ・検討を踏まえたコミュニティ・スクール制度の導入 		

2-1-4	家庭の実情に合った協働のあり方を検討し、家庭と協働して生きる力をはぐくみます。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・個人面談、保護者会、道徳授業地区公開講座等の機会をとおして、保護者と連携を図り、家庭で培う基本的な生活習慣を通じた協働、家庭の実情に合った協働のあり方を検討し、家庭と協働して生きる力をはぐくむ。 ・各学校が専門教育相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携を図り、必要に応じて保護者を交えたケース会議を開催するなどして、家庭の役割と責任を明確にしつつ、関係機関からの支援を充実させる。	計画期間終了時点における到達目標 ・各学校が家庭で培う基本的な生活習慣を通じた協働、家庭の実情に合った協働のあり方の研究を進め、子どもの生きる力をはぐくむための学校と家庭の協働方針が策定されている。 ・各学校と関係機関の連携のあり方が確立され、適切な支援を講じることにより、家庭の役割と責任が明確化されている。	前年度までの取組状況（成果） ・新型コロナウイルス感染症の影響により、個人面談や保護者会は年度当初の予定どおりには実施できなかったものの、各学校で工夫を凝らし、保護者との連携を丁寧に図ることができた。 ・道徳授業地区公開講座については、各学校で紙上開催やホームページ等で取組みの発信を行った。 ・様々な課題を抱える児童・生徒及び家庭を支援するため、専門教育相談員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが学校と連携しながら、助言、指導等を行った。
---	--	--

取組内容					■ 関連する予算事業
R3	(事業費 30,628 千円)	R4	(事業費 30,628 千円)	R5	(事業費 30,628 千円)
・個人面談及び保護者会 ・教育相談 ・SNS東京ルール ・道徳授業地区公開講座 ・hyper-QU（個人面談、ケース会議等資料） ・青少年健全育成連絡会 ・不登校・教育相談対策委員会 ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる支援	・個人面談及び保護者会 ・教育相談 ・SNS東京ルール ・道徳授業地区公開講座 ・hyper-QU（個人面談、ケース会議等資料） ・青少年健全育成連絡会 ・不登校・教育相談対策委員会 ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる支援	・個人面談及び保護者会 ・教育相談 ・SNS東京ルール ・道徳授業地区公開講座 ・hyper-QU（個人面談、ケース会議等資料） ・青少年健全育成連絡会 ・不登校・教育相談対策委員会 ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーによる支援	・特別支援教育推進（指導室） ・教育研究推進（指導室） ・教育相談関係費（教育支援課） ・不登校対策支援（教育支援課）		

2-2-1	専門家や地域人材の活用を図り、部活動をはじめとする教育活動等の充実や関係部局・機関との連携を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 部活動指導員の活用等による学校支援等、専門家や地域人材の活用を図り、部活動をはじめとする教育活動等の充実や関係部局・機関との連携を図る。	計画期間終了時点における到達目標 ・部活動指導員の積極的活用を図り、より質の高い部活動が行われている。 ・地域学校協働活動推進事業の活用を促進し、地域・家庭・学校が一体となった教育活動を推進できている。	前年度までの取組状況（成果） ・部活動指導員を全校に配置し、部活動の充実を図った。 ・各学校で専門家や地域人材の活用を進め、地域と学校が連携した教育活動を推進することができた。
--	--	---

取組内容					■ 関連する予算事業
R3	(事業費 10,035 千円)	R4	(事業費 10,035 千円)	R5	(事業費 10,035 千円)
・部活動指導員 ・外部指導員 ・地域学校協働活動推進事業 ・学校運営連絡協議会 ・セーフティ教室	・部活動指導員 ・外部指導員 ・地域学校協働活動推進事業 ・学校運営連絡協議会 ・セーフティ教室	・部活動指導員 ・外部指導員 ・地域学校協働活動推進事業 ・学校運営連絡協議会 ・セーフティ教室	・部活動助成（指導室） ・学校運営改善・発展のための事業（指導室）		

2-2-1	専門家や地域人材の活用を図り、部活動をはじめとする教育活動等の充実や関係部局・機関との連携を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 地域の人材を活用した地域学校協働活動として市民活動支援センター（こまえくぼ1234）と連携し、地域の人材の発掘・育成を進め、学校をはじめとした教育分野における地域人材の活用を推進する。	計画期間終了時点における到達目標 地域人材等が外部講師・指導員として学校の教育活動に利用されている。	前年度までの取組状況（成果） ・令和2年度より、地域学校協働推進事業を立ち上げた。市内小・中学校へアンケート及びヒアリングを実施するとともに、市民活動支援センター（こまえくぼ1234）と連携して市内企業等を訪問し、協力依頼や事業の打合せを行った。 ・事業に協力いただいた企業による出前授業等を3回実施した。
--	--	--

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 1,388 千円) ・地域学校協働活動推進事業 ・市民活動支援センターを活用した地域学校協働活動者登録を行う。	R4 (事業費 1,351 千円) ・地域学校協働活動推進事業 ・市民活動支援センターを活用した地域学校協働活動者登録を行う。	R5 (事業費 1,351 千円) ・地域学校協働活動推進事業 ・市民活動支援センターを活用した地域学校協働活動者登録を行う。	地域学校協働活動推進事業（社会教育課）

2-2-2	地域の願いや子どもたちの声を生かした学校経営を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	-------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 地域学校協働活動推進事業、学校運営連絡協議会、学校評価・第三者評価等を活用し、地域の教育活動への参画と評価を推進し、地域の願いや子どもたちの声を生かした学校経営を推進する。	計画期間終了時点における到達目標 ・各種調査結果やデータ等に基づき、児童の姿や学校及び地域の現状、保護者や地域住民の意向等が把握できている。 ・全学校の全教職員がカリキュラム・マネジメントについて理解し、教育課程の編成を含めたカリキュラム・マネジメントに関わる取組みができています。	前年度までの取組状況（成果） 各学校で学校評価や第三者評価を実施し、地域や保護者等の願いを反映させた令和3年度教育課程を編成することができた。
--	--	---

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 794 千円) ・地域学校協働活動推進事業 ・学校運営連絡協議会 ・学校評価 ・第三者評価	R4 (事業費 794 千円) ・地域学校協働活動推進事業 ・学校運営連絡協議会 ・学校評価 ・第三者評価	R5 (事業費 794 千円) ・地域学校協働活動推進事業 ・学校運営連絡協議会 ・学校評価 ・第三者評価	学校運営改善・発展のための事業（指導室） 地域学校協働活動推進事業（社会教育課）

3-1-1	研修及び教育研究への支援を充実し、教員の資質・能力の向上を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	------------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 人事考課制度の効果的活用を図る。また、時代のニーズに合わせた研修内容の精選・焦点化、研修の形式（集合研修・オンライン研修）、OJT、OFF-JTのあり方を検討し、より効果的な研修を行えるようにし、教員の資質・能力の向上を図る。	計画期間終了時点における到達目標 ・集合研修の他、オンライン研修等、新たな研修形態が確立している。 ・各学校におけるミドルリーダーを育成する研修を充実させ、若手教員へのOJTが充実している。	前年度までの取組状況（成果） ・新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインによる各種職層・年次研修等や会議を実施することで、研修等を中止とせず教員の資質・能力の向上に向けて途切れることなく継続的に人材育成の取組みを進めた。 ・教育支援センターでは、新規採用教員及び学校長が必要と認めた教員を対象に授業参観、教員との面接等を行い、授業方法等の指導、助言を行うとともに、研修会を7回実施した。また、勤務校訪問指導を計42回実施した。
---	--	--

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 5,024 千円) ・各種職層、年次研修 ・人事考課制度 ・初任者・期限付任用教員の勤務校訪問指導及び研修会	R4 (事業費 5,024 千円) ・各種職層、年次研修 ・人事考課制度 ・初任者・期限付任用教員の勤務校訪問指導及び研修会	R5 (事業費 5,024 千円) ・各種職層、年次研修 ・人事考課制度 ・初任者・期限付任用教員の勤務校訪問指導及び研修会	教育研究推進（指導室） 教育支援センター関係費（教育支援課）

3-1-2	学校の創意を生かし、子どもや保護者、地域にとって魅力ある学校づくりを推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・学校経営計画の具現化への支援をはじめ、各種主任会、研修会等でカリキュラム・マネジメントの推進に関する内容を取り上げ、教育課程の改善・充実を図る。また、地域学校協働活動推進事業の拡大を図り、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動の推進など、学校の創意を生かし、子どもや保護者、地域にとって魅力ある学校づくりを推進する。 ・情報端末の整備に伴い、異校種・海外・各種専門家等との連携（オンラインを含む）を充実させ、児童・生徒が多様な考えに触れる機会の充実を図る。	計画期間終了時点における到達目標 各種主任会、研修会等でカリキュラム・マネジメントの推進に関する内容を取り上げ、ICTを含む様々なツールを駆使して各教科等での学びをつなぎ探究する教育課程の編成に全教職員が関わっている。その上で、各学校が児童・生徒、地域、保護者の実態やニーズに合わせた、次代に生きる子どもたちをばくくみ、特色ある教育活動が展開されている。	前年度までの取組状況（成果） ・指導室訪問では、学校の要望に応じてカリキュラム・マネジメント推進に関する指導を行い、教育課程の改善・充実を図った。 ・情報端末（タブレット）を活用し、コロナ禍における学びの保障や不登校児童生徒への学習フォローの取組みを進めた。特別支援学級では、タブレット活用により不登校気味の児童が登校ができるようになった事例がみられた。
---	---	--

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 164,675 千円) ・指導室訪問 ・各種主任会、研修会 ・地域学校協働活動推進事業 ・第三者評価委員会 ・狛江の教育21研究推進校（一中） ・情報教育推進	R4 (事業費 164,675 千円) ・指導室訪問 ・各種主任会、研修会 ・地域学校協働活動推進事業 ・第三者評価委員会 ・情報教育推進	R5 (事業費 164,675 千円) ・指導室訪問 ・各種主任会、研修会 ・地域学校協働活動推進事業 ・第三者評価委員会 ・情報教育推進	教育研究推進（指導室） 学校運営改善・発展のための事業（指導室） 情報教育推進（指導室） 地域学校協働活動推進事業（社会教育課）

3-1-3	持続可能な学校指導体制づくりを推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	-----------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・教員一人ひとりの心身の健康保持の実現と誇りとやりがいを持って職務に従事できる環境を整備することにより、持続可能な学校指導体制づくりを推進する。 ・部活動指導員の活用等教員の負担軽減、ICT環境の整備、校務支援システムの充実等を図り、学校における働き方改革の推進を推進し、持続可能な学校指導体制づくりを推進する。 ・教職員の出退勤を管理することによって、教員一人ひとりが勤務時間を適切に把握することにより、勤務時間に対する意識を高め、働き方改革を推進する。	計画期間終了時点における到達目標 必要な人材配置、ICT環境整備等を推進し、校務改善を図り、「学校の働き方改革プラン」に示す目標値が達成している。教員が児童・生徒と関わる時間を確保することで、職務への「やりがい」が生まれ、持続可能な学校の指導体制が構築されている。	前年度までの取組状況（成果） ・学校の働き方改革プランについて、取組状況及び進捗の把握と所管課による自己評価による総括を行い、プランの改定を行った。また、一斉閉庁期間（4日間、土日・休日を含めると9日間）を設け、プランに基づく取組みを推進した。 ・部活動指導員を全校に配置し、部活動の充実を図るとともに、教員の負担軽減を図ることができた。 ・GIGAスクール構想にいち早く取り組むため、9月末までに児童・生徒一人1台情報端末（タブレット）を配備した。教員が児童・生徒と場所や時間を問わずシームレスに関わることができるよう環境を整備した。 ・令和3年度からの中学校用業務の一部委託化に向けた準備を行った。
--	--	--

取組内容					■関連する予算事業
R3	(事業費 177,946 千円)	R4	(事業費 177,946 千円)	R5	(事業費 177,946 千円)
・学校の働き方改革プラン（改定版）に基づく取組みの推進 ・部活動指導員 ・外部指導員 ・ICT環境整備 ・校務支援システム ・教職員出退勤管理システムの運用 ・一斉閉庁 ・音声対応装置 ・学校施設・設備の維持管理業務包括委託、移行可能な業務の検討	・学校の働き方改革プラン（改定版）に基づく取組みの推進 ・部活動指導員 ・外部指導員 ・ICT環境整備 ・校務支援システム ・教職員出退勤管理システムの運用 ・一斉閉庁 ・音声対応装置 ・検討に基づいた学校施設・設備の維持管理業務包括委託	・学校の働き方改革プラン（改定版）に基づく取組みの推進 ・部活動指導員 ・外部指導員 ・ICT環境整備 ・校務支援システム ・教職員出退勤管理システムの運用 ・一斉閉庁 ・音声対応装置 ・検討に基づいた学校施設・設備の維持管理業務包括委託	小・中学校学校維持管理費（学校教育課） 部活動助成（指導室） 情報教育推進費（指導室） 指導一般事務費（指導室）		

3-1-4	児童・生徒の安全確保に向けた支援体制の充実を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	-----------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・通学路上に防犯カメラを設置し、児童・生徒の登下校時等の安全確保を図る。また、教育委員会・市長部局・市内小・中学校においてデジタル地図を活用することにより、同一情報をリアルタイムで共有することを可能とすることで通学路等における危険箇所をいち早く把握し、安全管理の充実を図る。 ・狛江市立学校PTA連合会が主催することもかけこみ110番事業を引き続き支援し、設置協力者件数の増加を図る。	計画期間終了時点における到達目標 ・市内全域において、防犯カメラを50台設置し、設置済みの防犯カメラのうち、耐用年数を超えたものについて順次更新を行うことにより、継続的な運用が図られている。 ・デジタル地図を活用し、最新情報を共有しながら通学路安全対策会議での議論等も踏まえ、適切な安全対策が行われている。 ・こどもかけこみ110番の設置協力者件数が増加している。	前年度までの取組状況（成果） ・通学路安全対策会議で防犯カメラの設置箇所を検討し、市内小学校通学路懸念地帯に新たに10台の防犯カメラを設置し、通学路全体で計50台配置された。 ・こどもかけこみ110番のプレートを市内に設置する団体への補助を行い、子どもを犯罪から守るための緊急避難場所の確保を支援した。
---	--	--

取組内容					■関連する予算事業
R3	(事業費 9,356 千円)	R4	(事業費 9,356 千円)	R5	(事業費 9,356 千円)
・通学路安全対策会議の実施 ・防犯カメラの設置及び運用 ・デジタル地図の活用、情報更新 ・防犯カメラの更新（H27年度設置分） ・こどもかけこみ110番保険加入 ・こどもかけこみ110番事業補助金	・通学路安全対策会議の実施 ・防犯カメラの運用 ・デジタル地図の活用、情報更新 ・防犯カメラの更新（H28年度設置分） ・こどもかけこみ110番保険加入 ・こどもかけこみ110番事業補助金	・通学路安全対策会議の実施 ・防犯カメラの運用 ・デジタル地図の活用、情報更新 ・防犯カメラの更新（H29年度設置分） ・こどもかけこみ110番保険加入 ・こどもかけこみ110番事業補助金	学校安全対策費（学校教育課） こどもかけこみ110番（社会教育課）		

3-1-5	学校施設の計画的改修と修繕を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	----------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・公共施設整備計画等の長期展望に立った計画に基づく老朽化対応を行うとともに、各学校のこれまでの改修状況や改築時期も見据えながら必要な修繕等を実施し、長寿命化と安心安全な学校環境整備を推進する。 ・あわせて災害時の使用や多様な人々の利用を踏まえた施設のあり方の検討を進める。	計画期間終了時点における到達目標 ・公共施設整備計画に基づく改修工事が計画年次どおりに実施されている。 ・災害時等の避難所使用を踏まえた必要器材等が整備されている。 ・大規模改修時等を利用したユニバーサルデザインの導入や支援が必要な児童・生徒に対する必要な設備等の整備が進んでいる。	前年度までの取組状況（成果） ・児童増加対策工事（一小） ・屋内運動場空調設備工事（三小・一中・三中・四中） ・テラス改修工事（和泉小） ・照明設備更新（五小・六小・和泉小・一中・三中・四中） ・空調設備工事（一小・一中・三中） ・情緒障がい固定学級等整備工事（三中）
---	---	---

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 1,119,621 千円) ・児童増加対策工事（一小） ・屋内運動場空調設備工事（五小・六小・和泉小） ・大規模改修工事（三小・二中） ・外壁改修工事（一中） ・プールろ過器更新（和泉小・一中） ・空調設備工事（三小・一中・三中） ・屋内運動場床改修工事（四中）	R4 (事業費 573,000 千円) ・空調設備工事（五小・六小・和泉小・四中） ・大規模改修工事（三小・二中） ・サッシ改修工事（五小）	R5 (事業費 670,000 千円) ・トイレ工事（六小） ・大規模改修工事（三小・一中・二中）	小・中学校既存施設改修工事（施設課）

3-1-6	安心安全な給食の提供に向けた取組みを推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・定期的な食材検査、アレルギー疾患に対する個別対応等を進めるとともに、専門医療機関と連携したアナフィラキシー対応の仕組みを活用し、安心安全な給食の提供に向けた取組みを推進する。 ・また、地域の生産者等と連携した狛江産野菜の活用（地産地消）や、給食時間等を通じ、児童・生徒が食への関心を持てるよう取り組む。	計画期間終了時点における到達目標 ・事故等のない安心安全な給食提供が継続されている。 ・地域の生産者等と連携した更なる狛江産野菜が活用されている。 ・栄養士等のアウトリーチによる食に関する授業・給食時訪問等が適宜実施されている。	前年度までの取組状況（成果） ・地場野菜の活用を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響により、外食需要や輸出の減少に伴い国産食材の消費が低迷したことから、国の補助制度を活用した給食食材の無償提供（市内肉店による国産牛肉及び鹿児島県鹿屋市漁協によるカンパチ等）を受けた。食材の生産から消費までの流通等について改めて考える機会と位置付け、児童・生徒が食への関心を持てるよう、給食だよりへの記載及び給食時間等を通じた取組みを行った。 ・定期的な給食食材検査及びアレルギー食の個別対応を実施した。
---	--	--

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 619 千円) ・地域の生産者と連携した狛江産野菜の活用 ・授業、給食時間等を活用した食に関心を持つきっかけづくり ・食材検査(細菌検査、残留農薬検査、遺伝子組換え食品分析)の実施 ・アレルギー疾患対応及びアナフィラキシーホットラインの活用、専用携帯電話の配置 ・アレルギー情報交換会及びアレルギー関係講習会の実施	R4 (事業費 619 千円) ・地域の生産者と連携した狛江産野菜の活用 ・授業、給食時間等を活用した食に関心を持つきっかけづくり ・食材検査(細菌検査、残留農薬検査、遺伝子組換え食品分析)の実施 ・アレルギー疾患対応及びアナフィラキシーホットラインの活用、専用携帯電話の配置 ・アレルギー情報交換会及びアレルギー関係講習会の実施	R5 (事業費 619 千円) ・地域の生産者と連携した狛江産野菜の活用 ・授業、給食時間等を活用した食に関心を持つきっかけづくり ・食材検査(細菌検査、残留農薬検査、遺伝子組換え食品分析)の実施 ・アレルギー疾患対応及びアナフィラキシーホットラインの活用、専用携帯電話の配置 ・アレルギー情報交換会及びアレルギー関係講習会の実施	一般事務費（学校教育課） 小・中学校維持管理費（学校教育課） 小・中学校給食費（学校教育課） 学校保健衛生費（学校教育課）

3-2-1	情報機器やデジタル教材等を活用し、効果的な学習指導の充実を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	------------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・GIGA スクール構想等を踏まえ、ICT 機器等の新しい学びを支える環境の整備と機器の活用等、情報機器やデジタル教材等の活用を推進する。情報教育推進協議会、各種職層、年次研修等を活用し、効果的な学習指導の充実を図る。 ・ICT環境を基盤とした先端技術や教育ビッグデータを活用して、「学びにおける時間・距離などの制約を取り払う」「個別に最適で効果的な学びや支援」「校務の効率化」などSociety5.0の時代において求められる教育を進める。	計画期間終了時点における到達目標 ・一人1 台端末を実現させ、円滑に活用できるような人材を含めた環境整備が行われている。 ・効果的な活用が促進されるように、情報教育に関する研修会が毎年開催されている。 ・対面指導とオンライン学習を適切に組み合わせたハイブリッド型授業が実施されている。	前年度までの取組状況（成果） ・G I G Aスクール構想にいち早く取り組むため、9月末までに児童・生徒へ一人1台情報端末（タブレット）を配備した。 ・活用に向けて、G I G Aスクール構想推進委員会を7回開催するとともに、狛江市立小・中学校教育研究会における授業研究等を実施して活用方法の実践的研究を推進した。
---	--	--

取組内容					■関連する予算事業	
R3	(事業費 161,987 千円)	R4	(事業費 161,987 千円)	R5	(事業費 161,987 千円)	情報教育推進費（指導室）
<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育 ・ICT環境整備 ・情報教育推進協議会 ・デジタル教科書 		<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育 ・ICT環境整備 ・情報教育推進協議会 		<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング教育 ・ICT環境整備 ・情報教育推進協議会 		

3-2-2	学校図書館の機能を強化・充実させ、市立図書館との積極的な連携を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---------------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい デジタル百科事典の導入をはじめ、「本の森」等の改訂の推進、学校図書館連絡協議会の活動内容の充実等により、学校図書館の機能を強化・充実させるとともに、市立図書館との積極的な連携を推進する。	計画期間終了時点における到達目標 ・「本の森」の改訂を令和3年度末までに終わるとともに、効果的な活用促進を図り、デジタル百科事典の活用と併せ、児童・生徒が主体的に学習に取り組んでいる。 ・市の中央図書館、電子図書館との連携を図り、児童・生徒の学校図書館の利用率が平成31年度より向上し、習慣的に読書する力がはぐくまれている。	前年度までの取組状況（成果） ・小学校では令和3年度に向けて、「本の森」（中学年用）を改訂した。 ・中学校では狛江市立図書館と連携して、「ようこそ本の世界へ」を改訂した。「ようこそ本の世界へ」については、製本せず、デジタル版での配信を予定している。
---	---	---

取組内容					■関連する予算事業	
R3	(事業費 19,161 千円)	R4	(事業費 19,161 千円)	R5	(事業費 19,161 千円)	情報教育推進費（指導室） 図書整備（指導室）
<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル百科事典の活用 ・学校図書館書籍購入 ・学校図書館連絡協議会 		<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル百科事典の活用 ・学校図書館書籍購入 ・学校図書館連絡協議会 		<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル百科事典の活用 ・学校図書館書籍購入 ・学校図書館連絡協議会 		

3-2-2	学校図書館の機能を強化・充実させ、市立図書館との積極的な連携を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---------------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 学校図書館が有する読書センター機能や学習・情報センター機能、教員のサポート機能等を更に充実させるため、学校図書館と市立図書館が連携した取組みを引き続き推進する。また、学校図書館の専任職員である学校司書の資質向上や図書館による支援の充実を図るため、学校教職員（司書教諭・学校司書）と図書館司書職員等との連絡会を定期的開催し、更なる連携の強化に向けた方策とその実施に向けた課題の整理・検討を進める。	計画期間終了時点における到達目標 学習指導要領（総則）に掲げる「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実すること。」が各学校において確立されていることに加え、子どもが早期から読書に親しむ機会がより一層充実している。	前年度までの取組状況（成果） ・図書館協議会と連携し、令和3年度からの小学校におけるセカンドブック事業（学校にて希望集約、図書の配布及び読書指導への活用）について制度設計・周知をするなど、実施に向けた準備を行った。 ・コロナ禍により連絡会は実施できなかったが、図書の消毒の取り扱い等の必要な情報を学校図書館と共有し、その他専門事項の相談に応じるなど、連携を密にして学校図書館に対する運営支援を行った。
---	--	---

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 2,511 千円) ・図書館協議会への学校関係者の委嘱 ・学校司書連絡会の実施 ・学校配送便の運行 ・小学校と連携したセカンドブック事業の実施	R4 (事業費 2,511 千円) ・図書館協議会への学校関係者の委嘱 ・学校司書連絡会の実施 ・学校配送便の運行 ・学校と連携した子ども読書啓発事業の実施	R5 (事業費 2,511 千円) ・図書館協議会への学校関係者の委嘱 ・学校司書連絡会の実施 ・学校配送便の運行 ・学校と連携した子ども読書啓発事業の実施	・中央図書館運営費（図書館） ・図書館協議会委員関係費（図書館） ・子ども読書啓発事業（図書館）

3-3-1	いじめ・不登校等に対する組織的な対応を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・各学校において、hyper-QU等、各種アンケートの活用を推進する。また生活指導主任会、不登校・教育相談対策委員会、スクールカウンセラー連絡協議会の推進、教育支援センターの専門教育相談員、スクールソーシャルワーカーとの連携により、家庭環境に起因する諸課題（貧困・児童虐待など）の早期発見・支援や子どもが気軽に相談しやすい体制の充実など、いじめ・不登校等に対する組織的な対応を推進する。 ・ゆうゆう教室においては、ゆったり心を開いて活動するための場を提供し、一斉・個別の学習支援や人間関係を築くための指導を通じて、社会的な自立を目指す。 ・早稲田大学総合科学学術院、こども教育支援財団等、協定団体との連携を強化し、特別な配慮を要する子どもへの支援の充実を図る。	計画期間終了時点における到達目標 ・いじめの未然防止を図り、hyper-QUにおける侵害行為認知群、不満足群・要支援群について、平成31年度を規準として、全体に占める割合が減少している。 ・魅力ある学校づくり、互いを高め合う集団づくりを推進し、不登校の未然防止を図ることで、新規不登校児童・生徒が減少している。 ・不登校の児童・生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的自立を果たしている。 ・協定団体との連携をとおして、教員一人ひとりの対応力の向上が図られ、いじめ・不登校等に対する組織的な対応が推進されている。	前年度までの取組状況（成果） ・早稲田大学と連携し、hyper-QUを活用して児童・生徒個々のアセスメントと満足度の高い集団づくりの実現のためにコンサルティングを行った。要支援群については、平成31年度の小学校50人、中学校56人が令和2年度には小学校が28人、中学校が51人となっており、減少がみられた。 ・不登校対策として生活指導主任会等で各学校の状況の報告と対応について協議し、多くの情報を共有し対応を進めた。 ・ゆうゆう教室において、不登校児童・生徒に対し、一斉・個別の学習支援や豊かな人間関係を築くための適応指導を行った。また、ゆうゆう教室にも登室できない不登校児童・生徒に対し、相談員を派遣し、話相手、相談相手等となることにより、人間関係の回復、社会適応に向けた自立支援を行った。
--	--	--

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 24,026 千円) ・hyper-QU ・生活指導主任会 ・青少年健全育成連絡会 ・不登校対策支援 ・いじめ問題対策委員会	R4 (事業費 24,026 千円) ・hyper-QU ・生活指導主任会 ・青少年健全育成連絡会 ・不登校対策支援 ・いじめ問題対策委員会	R5 (事業費 24,026 千円) ・hyper-QU ・生活指導主任会 ・青少年健全育成連絡会 ・不登校対策支援 ・いじめ問題対策委員会	特別支援教育推進（指導室） 教育研究推進（指導室） いじめ問題等対策推進（指導室） 不登校対策支援（教育支援課）

3-3-2	外国籍や障がいのある子ども等支援が必要な児童・生徒への支援の充実を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育研修、特別支援学級・教室代表者会等とおして、特別支援学級、特別支援教室における指導の充実を図るとともに、狛江市子育て・教育支援複合施設、都立特別支援学校との連携を図り、障がいのある子ども等支援が必要な児童・生徒への支援の充実させる。 日本語指導員の派遣等、外国籍の児童・生徒への支援を行う。 特別支援教室を利用する児童・生徒については、退級を目指した指導が確実に進むよう、特別支援教室担当教員を対象とした研修会を毎年開催する。 支援が必要な児童・生徒に対する確実な支援に伴い、学校不適応、不登校の未然防止と早期発見に努め、休みがちになった際には、適切な対応方針に基づいた早期対応を実施する。 	計画期間終了時点における到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 特別支援学級及び特別支援教室の児童・生徒については、自立と就労及び退級を見据えた教育活動が展開できるよう指導の充実を図るため、特別支援学級担当教員を対象とした研修会が毎年開催されている。 日本語指導員の派遣が確実に進められ、学校と連携を図り、当該児童・生徒の確実な支援につながっている。 各取組み及び情報端末の活用をおして、学校に適応しにくい子どもに対する学びと人間関係の構築が保障されている。 	前年度までの取組状況（成果） <ul style="list-style-type: none"> 全小・中学校で特別支援教育の理解教育を推進するため、特別支援教育研修会、地域特別支援教育推進連絡協議会（3回）を設定した。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、紙面開催や動画配信での研修を行った。 特別支援学校との連携として、特別支援教育コーディネーター会に調布特別支援学校とけやきの森特別支援学校の教員が出席し、副籍交流や情報の共有等を行い連携を図った。 特別支援学級及び通常学級に在籍し、支援を必要とする児童・生徒に対し、移動や身辺の介助、指導の補助等を行う支援員を配置した。また、特別支援学級に在籍する児童・生徒に対し、身辺自立を目的とした生活習慣の育成指導や学習、集団行動、登下校時の指導等を行う介助員を配置した。 学校からの要請で、通常学級に在籍する配慮を必要とする児童・生徒に対し、医師や作業療法士等が学校を巡回、行動観察や今後の指導方針等を協議し学校に指導・助言等を行う巡回相談を実施した。
---	---	--

取組内容					■ 関連する予算事業	
R3	(事業費 247,897 千円)	R4	(事業費 247,897 千円)	R5	(事業費 247,897 千円)	教育研究推進（指導室） 国際理解教育促進（指導室） 情報教育推進（指導室） 教育相談関係費（教育支援課） 不登校対策支援（教育支援課） 特別支援教育推進（教育支援課） 特別支援教育支援員（教育支援課） 特別支援学級維持管理費（教育支援課）
<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育研修 特別支援学級・教室代表者会 特別支援学校との連携 子育て・教育支援複合施設（ひだまりセンター）との連携 日本語指導員の派遣 教育相談 不登校・教育相談対策委員会 情報教育推進 特別支援教育支援員・介助員の配置 特別支援教育に係る巡回相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育研修 特別支援学級・教室代表者会 特別支援学校との連携 子育て・教育支援複合施設（ひだまりセンター）との連携 日本語指導員の派遣 教育相談 不登校・教育相談対策委員会 情報教育推進 特別支援教育支援員・介助員の配置 特別支援教育に係る巡回相談の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育研修 特別支援学級・教室代表者会 特別支援学校との連携 子育て・教育支援複合施設（ひだまりセンター）との連携 日本語指導員の派遣 教育相談 不登校・教育相談対策委員会 情報教育推進 特別支援教育支援員・介助員の配置 特別支援教育に係る巡回相談の実施 				

3-3-3	特別支援教育の環境整備を一層進め、個に応じた指導・支援の充実を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--------------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい <ul style="list-style-type: none"> 狛江市子育て・教育支援複合施設（ひだまりセンター）を拠点とし、教育・子育て・福祉が一体となって子どもの育ちや発達を総合的かつ継続的に支援する。 中学における自閉症・情緒障がい固定学級を設置し、発達に障がいのある生徒に対し、個に応じた継続性のある、きめ細かな指導・支援が受けられる環境を整備する。 	計画期間終了時点における到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 狛江市子育て・教育支援複合施設（ひだまりセンター）が拠点となって、教育・子育て・福祉等の関係機関が連携のもと、障がいがある子どもが、ライフステージを通じて継続的かつ一貫性のある支援が受けられている。 小・中学校に在籍する障がいのある児童・生徒が、充実した教育環境のもとで、適切な合理的配慮の提供を受けながら、障がいの種類や程度に応じた専門性の高い指導・支援が受けられている。 	前年度までの取組状況（成果） <ul style="list-style-type: none"> 狛江第三中学校自閉症・情緒障害特別支援学級の開設準備に向けた準備を行った。また、令和3年度の教育課程編成について指導助言を行った。 児童発達支援センターで支援している児童の就学に伴い、教育支援センターに引継ぎを行った。また、子育て教育複合施設（ひだまりセンター）の適応指導教室及び教育相談で対応している児童・生徒等について、情報共有の場を設定し、協議等を進めた。
---	--	--

取組内容					■ 関連する予算事業	
R3	(事業費 23,708 千円)	R4	(事業費 23,708 千円)	R5	(事業費 23,708 千円)	教育相談関係費(教育支援課) 特別支援教室関係費(教育支援課)
<ul style="list-style-type: none"> 狛江第三中学校での自閉症・情緒障がい特別支援学級の開設 子育て・教育支援複合施設（ひだまりセンター）を拠点とした教育・子育て・福祉分野の連携による総合的かつ継続的な育ちや発達の支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て・教育支援複合施設（ひだまりセンター）を拠点とした教育・子育て・福祉分野の連携による総合的かつ継続的な育ちや発達の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 子育て・教育支援複合施設（ひだまりセンター）を拠点とした教育・子育て・福祉分野の連携による総合的かつ継続的な育ちや発達の支援 				

4-1-1	公民館の利用しやすい環境整備を進め、地域における学びや居場所の充実を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 公民館は社会教育における市民の学びの拠点であり居場所でもあることから、利用者懇談会等の意見を集約しながら多くの利用団体が利用しやすい環境整備を図るとともに、利用者のニーズを踏まえたフリースペースの充実等の取組みを通じて様々な世代が訪れる居場所を地域に提供する。	計画期間終了時点における到達目標 ・施設設備の更新や増設により利用者の利便性が向上している。 ・利便性の向上により、公民館の活動団体が増えている。 ・フリースペースの拡充により多世代が訪れ、交流できる居場所となっている。	前年度までの取組状況（成果） ・新型コロナウイルス感染症の影響により、フリースペースは席数を減らし、縮小して運営した。 ・多様な居場所のあり方についての連続講座を市民協働で3回実施した。新しい生活様式を見据え、会場での参加に加え、Web会議システムを活用したオンライン参加も可能とした。
--	--	--

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 95,375 千円) ・利用者懇談会等での利用団体の意見集約 ・市長部局と連携し、市民センター改修基本構想策定に当たってのワークショップ等を通じた幅広い市民の意見聴取、集約 ・西河原公民館多目的ホール舞台照明設備改修（R3～R5） ・多様な居場所のあり方について、一般の参加者も参加しやすいような講座、企画の実施を市民協働で検討し、連続講座を実施する。	R4 (事業費 96,134 千円) ・利用者懇談会等での利用団体の意見集約 ・西河原公民館多目的ホール舞台照明設備改修（R3～R5） ・多様な居場所のあり方について、一般の参加者も参加しやすいような講座、企画の実施を市民協働で検討し、連続講座を実施する。	R5 (事業費 94,435 千円) ・利用者懇談会等での利用団体の意見集約 ・西河原公民館多目的ホール舞台照明設備改修（R3～R5） ・多様な居場所のあり方について、一般の参加者も参加しやすいような講座、企画の実施を市民協働で検討し、連続講座を実施する。	市民センター管理費（公民館） 西河原公民館管理費（公民館） 居場所事業（公民館）

4-1-2	地域の身近な場所で学ぶことができる環境の充実を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 学校施設を地域団体の学びの場として活用し、団体の活動支援を図る。また、各種社会教育事業の実施に際し、他施設とも連携する等でより幅広い市民の学びの場の充実を図る。	計画期間終了時点における到達目標 各セクションが連携し、より幅広い市民が学べる場として役割を向上させている。	前年度までの取組状況（成果） 学校開放事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により開放を休止する期間もあったものの、感染症拡大防止対策を施しながら、市内小中学校の体育館や校庭等の施設の団体への開放を行った。
--	--	--

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 3,555 千円) 学校開放事業	R4 (事業費 3,555 千円) 学校開放事業	R5 (事業費 3,555 千円) 学校開放事業	学校開放（社会教育課）

4-1-2	地域の身近な場所で学ぶことができる環境の充実を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 市民誰もが公民館において主体的に学び、自己研鑽に努めることができ、公民館が学びによる繋がり・仲間づくりの場となり、公民館で学んだことを地域に還元できるように多種多様な学びのきっかけを公民館事業として提供する。	計画期間終了時点における到達目標 狛江市立公民館運営審議会による事業評価を受け、PDCAによる事業の見直しが常態として行われ、時代のニーズに即した新しい分野の学びを市民に提供できている。	前年度までの取組状況（成果） 狛江市立公民館運営審議会へ、公民館事業の評価のあり方について諮問し、意見交換及びプレ評価を通じて、「狛江市立公民館事業の評価のあり方について」の答申を受けた。
--	---	--

取組内容			■ 関連する予算事業
R3 (事業費 10,457 千円) ・公民館事業の実施 ・狛江市立公民館運営審議会による事業評価の実施 ・事業評価を受けた事業の整理・見直し、新規事業の検討	R4 (事業費 10,457 千円) ・公民館事業の実施 ・狛江市立公民館運営審議会による事業評価の実施と事業評価指標の見直し ・事業評価を受けた事業の整理・見直し、新規事業の検討	R5 (事業費 10,457 千円) ・公民館事業の実施 ・狛江市立公民館運営審議会による事業評価の実施と事業評価指標の見直し ・事業評価を受けた事業の整理・見直し、新規事業の検討	少年事業、青年教室事業、チャレンジ青年学級、成人学習事業、女性セミナー、学習グループ保育、日本語教室事業、市民劇場、公民館交流事業、こまえ市民大学、情報学習事業、居場所事業(すべて公民館)

4-1-2	地域の身近な場所で学ぶことができる環境の充実を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 誰もが地域の中で学びやすい環境を形成するため、他自治体公共図書館等との相互協力・連携等による図書館サービスの充実を図るとともに、公民館図書室・各地域センター図書室に対する各業務支援及び共通システムの運用等により、地域の身近な場所で図書館サービスを楽しむ環境づくりを推進する。	計画期間終了時点における到達目標 公民館図書室・各地域センター図書室等の地域の身近な場所に加え、電子図書館等の非来館型サービスの充実により、誰もが図書館サービスを楽しむ環境が確立されている。	前年度までの取組状況（成果） ・こまえ電子図書館の開設により、場所を問わず図書館サービスを楽しむ環境の充実を図った。 ・図書館システムの更新に併せ、全図書館・図書室における貸出用タブレット端末及び利用者用Wi-Fi接続環境を導入し、地域の身近な場所において学ぶことができる環境整備を推進した。また、中央図書館にて、国立国会図書館が提供する「デジタル化資料送信サービス」を使用できる環境を整備し、利用者に提供する資料の充実を図った。
---	---	--

取組内容			■ 関連する予算事業
R3 (事業費 19,857 千円) ・図書館システムの運用 ・地域センター図書室等配送便の運行 ・貸出用タブレット端末の配置 ・利用者用Wi-Fi接続環境の提供 ・電子図書館の運営 ・市長部局と連携し、ワークショップ等を通じた幅広い市民の意見聴取、新図書館整備基本構想策定検討委員会による新図書館整備基本構想素案の策定 (R3・R4)	R4 (事業費 19,577 千円) ・図書館システムの運用 ・地域センター図書室等配送便の運行 ・貸出用タブレット端末の配置 ・利用者用Wi-Fi接続環境の提供 ・電子図書館の運営 ・市長部局と連携し、ワークショップ等を通じた幅広い市民の意見聴取、新図書館整備基本構想策定検討委員会による新図書館整備基本構想素案の策定 (R3・R4)	R5 (事業費 19,506 千円) ・図書館システムの運用 ・地域センター図書室等配送便の運行 ・貸出用タブレット端末の配置 ・利用者用Wi-Fi接続環境の提供 ・電子図書館の運営	・中央図書館運営費 (図書館) ・新図書館整備基本構想検討委員関係費 (図書館)

4-2-1	世代を超えた交流や仲間づくり活動ができる機会の充実を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい	計画期間終了時点における到達目標	前年度までの取組状況（成果）
社会教育事業を市民との協働で行うことを通して、世代を超えた多様な市民の交流の機会を創出し、仲間づくり活動につなげていく。	事業で出会った市民同士が、自発的に連帯し、継続して活動を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働推進事業を立ち上げ、出前授業等を3回実施した。 ・多摩川スポーツ教室、障がい者スポーツ教室、市民スポーツ大会、少年少女スポーツ大会を開催するとともに、スポレク大会を新しい生活様式に対応した形で実施した。 ・一部教室・大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 23,109 千円)	R4 (事業費 23,109 千円)	R5 (事業費 23,109 千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進事業（社会教育課） ・少年少女スポーツ振興（社会教育課） ・市民スポーツ振興（社会教育課） ・市民スポーツ大会関係（社会教育課）
<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の推進 ・各種スポーツ教室、スポーツ大会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の推進 ・各種スポーツ教室、スポーツ大会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動の推進 ・各種スポーツ教室、スポーツ大会の実施 	

4-2-1	世代を超えた交流や仲間づくり活動ができる機会の充実を図ります。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい	計画期間終了時点における到達目標	前年度までの取組状況（成果）
公民館で学ぶ利用団体及び利用者の技術や知識を子どもや若者へ還元する機会を事業やイベントで提供することで、世代を超えた交流や仲間づくりの充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座やイベント等への子どもや若者の参加が増え、公民館における多世代交流の機会が図られている。 ・新たな団体の立ち上げや団体への参入により、団体間での交流が増えている。 	新型コロナウイルス感染症の影響により、地域交流事業（いべんと西河原・中央公民館のつどい）を中止した。また、フリースペースは席数を減らし、縮小して運営した。

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 5,959 千円)	R4 (事業費 5,959 千円)	R5 (事業費 5,959 千円)	少年事業、青年教室事業、成人学習事業、女性セミナー、公民館交流事業、こまえ市民大学、居場所事業(すべて公民館)
<ul style="list-style-type: none"> ・多世代を対象とした公民館事業の実施 ・いべんと西河原や中央公民館のつどい等で、昔遊びなどの多世代交流を目的としたイベントの実施 ・事業やイベントにおけるフリースペースの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代を対象とした公民館事業の実施 ・いべんと西河原や中央公民館のつどい等で、昔遊びなどの多世代交流を目的としたイベントの実施 ・事業やイベントにおけるフリースペースの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代を対象とした公民館事業の実施 ・いべんと西河原や中央公民館のつどい等で、昔遊びなどの多世代交流を目的としたイベントの実施 ・事業やイベントにおけるフリースペースの活用 	

4-2-2	図書館の利便性や利用率の向上を図るとともに、図書資料の充実・機能強化に向けた検討を行います。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい すべての世代にわたる市民一人ひとりに対して、教育や情報、様々な文化的活動に関わるニーズの充足に資することに加え、暮らしや仕事、地域の課題解決を支援するため、年齢や性別、障がいの有無、国籍等に関わらずきめ細かい図書館サービスを楽しむことができるよう、利便性や利用率向上を図る取組みを推進する。また、地域社会における情報サービス拠点としてふさわしい図書館資料の充実と強化とともに、令和2年度より開館した電子図書館の利用促進等、新たなサービスの展開を検討・推進する。	計画期間終了時点における到達目標 生涯を通じた学びの充実として、様々な文化的活動に関わるニーズを充足させる資料や、地域の課題解決に資する資料の収集・提供をはじめとした取組みが推進されている。	前年度までの取組状況（成果） ・所蔵する資料から得られる情報の不足を補うため、貸出用タブレット端末及び利用者用Wi-Fi接続環境を整備し、利用者が情報にアクセスできる環境の充実に努めた。また、中央図書館にて、国立国会図書館が提供する「デジタル化資料送信サービス」を使用できる環境を整備し、利用者に提供する資料の充実を図った。 ・利用支援サービスにおける協力者養成講習会を実施し、音訳協力者の育成に努めた。
--	---	---

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 26,364 千円) ・図書館資料の収集・整理・提供 ・子ども読書活動の推進 ・子ども読書啓発事業の推進 ・利用支援サービス事業の推進 ・貸出用タブレット端末の配置 ・利用者用Wi-Fi接続環境の提供 ・電子図書館の運営	R4 (事業費 26,364 千円) ・図書館資料の収集・整理・提供 ・子ども読書活動の推進 ・子ども読書啓発事業の推進 ・利用支援サービス事業の推進 ・貸出用タブレット端末の配置 ・利用者用Wi-Fi接続環境の提供 ・電子図書館の運営	R5 (事業費 26,364 千円) ・図書館資料の収集・整理・提供 ・子ども読書活動の推進 ・子ども読書啓発事業の推進 ・利用支援サービス事業の推進 ・貸出用タブレット端末の配置 ・利用者用Wi-Fi接続環境の提供 ・電子図書館の運営	・中央図書館運営費（図書館） ・子ども読書活動推進事業（図書館） ・子ども読書啓発事業（図書館） ・利用支援サービス事業（図書館）

4-3-1	市民が自らの経験を活かし、活躍できる仕組みを検討します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 地域の人材を活用した地域学校協働活動として市民活動支援センター（こまえくぼ1234）と連携し、地域の人材の発掘・育成を進め、学校をはじめとした教育分野における地域人材の活用を推進する。	計画期間終了時点における到達目標 地域人材等を外部講師として活用した特別授業の提供ツールが充実し、市民活動支援センターを通じて一般にも利用される。	前年度までの取組状況（成果） ・令和2年度より、地域学校協働推進事業を立ち上げた。市内小・中学校へアンケート及びヒアリングを実施するとともに、市民活動支援センター（こまえくぼ1234）と連携して市内企業等を訪問し、協力依頼や事業の打合せを行った。 ・事業に協力いただいた企業による出前授業等を3回実施した。
--	---	--

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 1,388 千円) ・地域学校協働活動推進事業 ・市民活動支援センター（こまえくぼ1234）と連携し、センター方式での外部講師による特別授業を提供する。	R4 (事業費 1,388 千円) ・地域学校協働活動推進事業 ・市民活動支援センター（こまえくぼ1234）と連携し、センター方式での外部講師による特別授業を提供する。	R5 (事業費 1,388 千円) ・地域学校協働活動推進事業 ・市民活動支援センター（こまえくぼ1234）と連携し、センター方式での外部講師による特別授業を提供する。	地域学校協働活動推進事業（社会教育課）

4-3-1	市民が自らの経験を活かし、活躍できる仕組みを検討します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 市民が自らの経験を地域へ還元できるように、地域のニーズを踏まえた学びを提供するとともに、必要に応じて粕江市市民活動支援センター（こまえくぼ1234）と連携し、公民館の地域人材を地域に紹介する。	計画期間終了時点における到達目標 ・公民館事業のボランティア協力や協働事業への市民の参加が増えている。 ・公民館利用団体が粕江市市民活動市民センター（こまえくぼ1234）等との連携により公民館事業以外の活動で活躍している。	前年度までの取組状況（成果） ・地域の人材を活用する粕江市地域学校協働活動推進事業への協力として、こまえ市民大学運営委員を紹介した。 ・公民館運営審議会委員及びこまえ市民大学運営委員の任期満了に伴い、令和3・4年度の委員の募集を行ったところ、公民館運営審議会は定員に達したが、こまえ市民大学運営委員については定員に満たなかった（欠員1名）。
--	--	---

取組内容			■ 関連する予算事業
R3 (事業費 10,457 千円) ・公民館事業の実施（事業評価を受けた事業の整理・見直し、新規事業の検討） ・地域や市民の力を活用した事業の実施 ・粕江市市民活動市民センター（こまえくぼ1234）との連携	R4 (事業費 10,457 千円) ・公民館事業の実施（事業評価を受けた事業の整理・見直し、新規事業の検討・実施） ・地域や市民の力を活用した事業の実施 ・粕江市市民活動市民センター（こまえくぼ1234）との連携	R5 (事業費 10,457 千円) ・公民館事業の実施（事業評価を受けた事業の整理・見直し、新規事業の検討・実施） ・地域や市民の力を活用した事業の実施 ・粕江市市民活動市民センター（こまえくぼ1234）との連携	少年事業、青年教室事業、チャレンジ青年学級、成人学習事業、女性セミナー、学習グループ保育、日本語教室事業、市民劇場、公民館交流事業、こまえ市民大学、情報学習事業、居場所事業(すべて公民館)

4-3-1	市民が自らの経験を活かし、活躍できる仕組みを検討します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい より細やかな図書館サービスの充実とその実践、図書館への親しみを感じられる事業展開のため、長きにわたり図書館と協働してきた市民グループ等との更なる連携強化に加え、個人登録による図書館ボランティア制度の充実を図ることにより、図書館運営に幅広い市民の力を活用し、細かなニーズにも対応できる取組みを推進する。	計画期間終了時点における到達目標 市民グループに対する資質向上等支援、図書館ボランティアに対する養成講座等を継続して実施することにより、市民グループ・図書館ボランティア新規加入者の発掘がサイクルとして確立されていることに加え、市民と協働して図書館サービスがより一層充実している。	前年度までの取組状況（成果） ・利用支援サービスにおける協力者養成講習会を実施し、新規音訳協力者の育成と市民グループ体制の充実に繋げた。 ・図書館ボランティアに対する養成講座を実施し、知識・技術の育成を図った。
--	---	--

取組内容			■ 関連する予算事業
R3 (事業費 489 千円) ・おはなし会の実施 ・利用支援サービス（音訳・対面朗読等）の実施 ・図書館ボランティア事業（図書修理・館内整理・資料整理等）の実施 ・各種養成講座等の実施	R4 (事業費 489 千円) ・おはなし会の実施 ・利用支援サービス（音訳・対面朗読等）の実施 ・図書館ボランティア事業（図書修理・館内整理・資料整理等）の実施 ・各種養成講座等の実施	R5 (事業費 489 千円) ・おはなし会の実施 ・利用支援サービス（音訳・対面朗読等）の実施 ・図書館ボランティア事業（図書修理・館内整理・資料整理等）の実施 ・各種養成講座等の実施	・子ども読書活動推進事業（図書館） ・利用支援サービス事業（図書館） ・図書館ボランティア関係費（図書館）

4-4-1	スポーツを楽しむきっかけをつくるとともに、スポーツ活動への興味・関心を高め、参加と仲間づくりを推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 教職員夏季研修、各種職層、年次研修等を活用し、体育指導の充実を図り、またオリンピック・パラリンピック教育を推進し、スポーツを楽しむきっかけをつくるとともに、スポーツ活動への興味・関心を高め、参加と仲間づくりを推進する。	計画期間終了時点における到達目標 「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」における生活・運動習慣等に関する項目の中で、一日の運動時間、運動の好き嫌い等の項目について、平成31年度の数値を基準に、それぞれの数値が改善され、継続的に運動に取り組む児童・生徒が増加している。	前年度までの取組状況（成果） ・令和2年度の「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。 ・スポーツ活動への興味・関心を高め、参加と仲間づくりを推進するために、各種職層、年次研修で喫緊の課題として取り上げて研修を行った。
---	--	--

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 5,585 千円)	R4 (事業費 122 千円)	R5 (事業費 122 千円)	教育研究推進（指導室） オリンピック・パラリンピック教育推進（指導室）
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員夏季研修 ・各種職層、年次研修 ・オリンピック・パラリンピック教育 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員夏季研修 ・各種職層、年次研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員夏季研修 ・各種職層、年次研修 	

4-4-1	スポーツを楽しむきっかけをつくるとともに、スポーツ活動への興味・関心を高め、参加と仲間づくりを推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 狛江市体育協会、狛江市総合型スポーツ・文化クラブ（狛〇くらぶ）等を初めとするスポーツ団体や体育施設指定管理者とも連携し、市民が気軽にスポーツに親しむためのきっかけづくりとして各種事業を実施する。また、ホームページ・SNS等で情報発信し、スポーツ人口の裾野の拡大を図る。	計画期間終了時点における到達目標 ・市民のスポーツ実施率70%を達成する。 ・個人が気軽に参加・実施できるスポーツや運動を行う環境整備を推進し、体育施設の個人開放利用者数を増加させる。	前年度までの取組状況（成果） ・多摩川スポーツ教室、障がい者スポーツ教室、市民スポーツ大会、少年少女スポーツ大会を開催するとともに、スポレク大会を新しい生活様式に対応した形で実施した。 ・一部教室・大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
--	---	---

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 24,493 千円)	R4 (事業費 24,493 千円)	R5 (事業費 24,493 千円)	少年少女スポーツ振興（社会教育課） 市民スポーツ大会関係費（社会教育課） 市民スポーツ振興（社会教育課） スポーツ推進委員関係費（社会教育課）
<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ大会、スポーツ教室の開催 ・多摩川を活用したスポーツ事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ大会、スポーツ教室の開催 ・多摩川を活用したスポーツ事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ大会、スポーツ教室の開催 ・多摩川を活用したスポーツ事業の実施 	

4-5-1	障がい者スポーツを含めた生涯スポーツの推進を図り、体力向上や生きがいづくりにつなげます。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 狛江市体育協会、狛江市総合型スポーツ・文化クラブ（狛〇くらぶ）等を初めとするスポーツ団体や体育施設指定管理者とも連携し、市民が気軽にスポーツに親しむためのきっかけづくりとして、各種スポーツ教室や大会を実施する。生涯スポーツの推進を図り、市民の体力の向上や生きがいづくりにつなげる。	計画期間終了時点における到達目標 ・市民のスポーツ実施率70%以上を達成する。 ・障がい者スポーツに関わる人材が増え、推進事業の担い手となる市民や団体が育成されている。	前年度までの取組状況（成果） ・多摩川スポーツ教室、障がい者スポーツ教室、市民スポーツ大会、少年少女スポーツ大会を開催するとともに、スポレク大会を新しい生活様式に対応した形で実施した。 ・一部教室・大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
--	---	---

取組内容			■ 関連する予算事業
R3 (事業費 21,721 千円) ・各種障がい者スポーツ教室等の開催 ・パラスポーツ普及促進事業の実施 ・健康づくり運動講座の開催 ・各種スポーツ大会、スポレク大会の開催 ・多摩川を活用したスポーツ事業の実施	R4 (事業費 21,721 千円) ・各種障がい者スポーツ教室等の開催 ・パラスポーツ普及促進事業の実施 ・健康づくり運動講座の開催 ・各種スポーツ大会、スポレク大会の開催 ・多摩川を活用したスポーツ事業の実施	R5 (事業費 21,721 千円) ・各種障がい者スポーツ教室等の開催 ・パラスポーツ普及促進事業の実施 ・健康づくり運動講座の開催 ・各種スポーツ大会、スポレク大会の開催 ・多摩川を活用したスポーツ事業の実施	少年少女スポーツ振興（社会教育課） 市民スポーツ振興（社会教育課） 市民スポーツ大会関係費（社会教育課）

4-5-2	個人や団体の育成、スポーツ指導員の資質向上を図るとともに、体育施設の計画的な改修等を行います。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 市民に向けた社会教育活動として各種スポーツ教室等を実施する個人や団体の発掘・育成、スポーツ推進委員・スポーツ指導者の資質向上を図る。また、市内体育施設の適切な修繕、設備の更新等を行い、狛江市公共施設整備計画において令和5年から予定されている市民総合体育館大規模改修を経て、施設の機能の維持向上を図る。また、公共施設がより多くの幅広い市民に活動の場として利用されるよう、団体登録と施設利用の関連性を整理し、登録のあり方や要件等を見直す。	計画期間終了時点における到達目標 ・スポーツ推進委員の資格等保有者の割合が増え、専門性が高まっている。 ・市民総合体育館大規模改修期間（令和5年～7年）においても、リモートでのスポーツ講座や在宅での軽運動が推進され、市民のスポーツ実施率が維持向上されている。	前年度までの取組状況（成果） ・公共施設がより多くの市民に活動の場として利用されるよう、社会教育委員の会議において社会教育団体登録と施設利用の関連性を整理し、答申を受けた。 ・スポーツ推進委員について、外部の研修に参加した。 ・体育施設について、市民プール塗装等、必要に応じて適切な修繕等を実施した。
---	--	--

取組内容			■ 関連する予算事業
R3 (事業費 10,306 千円) ・答申に基づいた社会教育関係団体への支援の方法、施設利用等の検討（関係課） ・各種スポーツ教室を行うスポーツ推進委員等への研修の推進 ・体育施設の適切な修繕等の実施	R4 (事業費 10,306 千円) ・答申及び検討に基づいた社会教育関係団体への支援の方法、施設利用等の運用（関係課） ・各種スポーツ教室を行うスポーツ推進委員等への研修の推進 ・体育施設の適切な修繕等の実施	R5 (事業費 10,306 千円) ・答申及び検討に基づいた社会教育関係団体への支援の方法、施設利用等の運用（関係課） ・各種スポーツ教室を行うスポーツ推進委員等への研修の推進 ・体育施設の適切な修繕等の実施	スポーツ推進委員関係費（社会教育課） 体育施設維持管理費（社会教育課） 社会教育委員関係費（社会教育課）

5-1-1	狛江の歴史を身近に感じ、狛江への愛着や歴史に関心を持つきっかけづくりを行います。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい 社会科副読本「わたしたちの狛江市」の活用や、生活科、社会科、総合的な学習の時間を中心とした地域学習をととして、狛江の歴史や文化財に触れる機会を推進し、狛江の歴史を身近に感じ、狛江への愛着や歴史に関心を持つきっかけづくりを行う。	計画期間終了時点における到達目標 ・社会科副読本「わたしたちの狛江市」について毎年改訂が行われ、適切に指導できるよう教員向けの資料が作成されている。 ・狛江の歴史や文化に子どもたちが身近に触れる機会が増え、学習活動の中で生かされている。	前年度までの取組状況（成果） 社会科副読本「わたしたちの狛江市」を改訂し、小学校へ配布した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、社会科見学等で活用することはできなかった。
---	---	---

取組内容			■ 関連する予算事業
R3 (事業費 0 千円) ・社会科副読本「わたしたちの狛江市」 ・特色ある教育活動（各学校） ・教務主任会（カリキュラム・マネジメント）	R4 (事業費 1,952 千円) ・社会科副読本「わたしたちの狛江市」 ・特色ある教育活動（各学校） ・教務主任会（カリキュラム・マネジメント）	R5 (事業費 0 千円) ・社会科副読本「わたしたちの狛江市」 ・特色ある教育活動（各学校） ・教務主任会（カリキュラム・マネジメント）	副読本関係費（わたしたちの狛江市） （指導室）

5-1-1	狛江の歴史を身近に感じ、狛江への愛着や歴史に関心を持つきっかけづくりを行います。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい ・小学校へのお出前学習や小学生を対象とした古民家園における体験学習、小・中学生を対象とした文化財ガイドの作成・配布を通じて、次世代を担う子どもたちに、狛江の歴史や文化財に触れる機会を提供していく。 ・調査報告書をはじめとする文化財関連刊行物の作成・配布、文化財めぐりや関連講演会、古民家園における各種教室・講座などを通じて、市民の幅広い世代が気軽に市の歴史や文化財に触れることができるような機会を提供していく。	計画期間終了時点における到達目標 ・市内の子どもたちの市の歴史や文化財等に対する関心がより高まっている。 ・市民のあいだで、市の歴史や文化財に対する関心がより高まっている。	前年度までの取組状況（成果） ・新型コロナウイルス感染症の影響により、小学校へのお出前学習や古民家園での体験学習を休止したが、こまえ文化財ガイド1～3を例年どおり作成し、小学校3・6年生、中学校1年生の全児童・生徒に配布した。また、平成31年度に作成した狛江市文化財散策マップを郷土学習での活用案内を付して小・中学校の全児童・生徒に配ることで、狛江の歴史や文化財に触れる機会を提供した。 ・古民家園における各種教室・講座等について、新型コロナウイルス感染症の影響により多くが中止になったが、状況が比較的落ち着いていた時期等に計22の教室・講座等を実施し、延べ608人の参加があった。 ・古墳公園の開園を記念して市内5箇所の古墳を巡るウォークラリーを実施し、歩こう！狛江の古墳パンフレットを広く配布するとともに、参加記念として古墳カードを配布することで、狛江の歴史や文化財に触れる機会を提供した。
--	---	---

取組内容			■ 関連する予算事業
R3 (事業費 1,491 千円) ・こまえ文化財ガイドの作成・配布 ・小学校を対象とした出前学習・体験学習の実施 ・古民家園における各種教室・講座の実施 ・文化財関連講演会、講座、展示会の開催	R4 (事業費 1,841 千円) ・こまえ文化財ガイドの作成・配布 ・小学校を対象とした出前学習・体験学習の実施 ・古民家園における各種教室・講座の実施 ・文化財関連講演会、講座、展示会の開催 ・文化財関連刊行物の作成・配布	R5 (事業費 1,841 千円) ・こまえ文化財ガイドの作成・配布 ・小学校を対象とした出前学習・体験学習の実施 ・古民家園における各種教室・講座の実施 ・文化財関連講演会、講座、展示会の開催 ・文化財関連刊行物の作成・配布	文化財保護関係費（社会教育課） 古民家園管理運営費（社会教育課）

5-1-2	文化財等を適切に保管、継承しつつ、効果的に公開・活用できるような保管・展示場所の確保について、具体的に検討します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	---	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・市内に所在するあるいは市の歴史等に関わる文化財の調査を進め、必要に応じて市文化財に指定するなど、文化財の把握と適切な保護・保存策を進める。 ・文化財保護法に基づく埋蔵文化財の調査、記録保存を進めるとともに、その成果を蓄積していく。 ・市が所有する文化財について、適切に保管・管理するとともに、その一部を出前学習や期間を定めた展示、古民家園における展示や体験学習等で活用していく。 ・市が所有する文化財について、将来にわたり有効的に活用できるよう、保管・展示・活用の場を検討していく。 	計画期間終了時点における到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・市内に所在する文化財の把握と必要に応じた保護・保存策が進んでいる。 ・市が所有・管理する文化財の公開・活用策が進んでいる。 ・市が所有する文化財等の適切な保管・管理・公開の場所について、検討が進み、具体化されている。 	前年度までの取組状況（成果） <ul style="list-style-type: none"> ・慶岸寺に所在する寛文二年（1662年）銘の石造供養塔を市文化財に指定し、保護・保存のために必要な措置を講じた。また、東京都の史跡に指定された猪方小川塚古墳について、指定に当たり情報提供した。 ・亀塚古墳の歴史的、文化財的位置付けを検討するため、文化財総合調査として國學院高校が所蔵する同古墳の出土遺物の再整理を進めた。 ・各種開発等に伴う埋蔵文化財の試掘調査を7件、本調査を3件実施し、記録保存として2冊の調査報告書を発行した。 ・市が寄贈を受けた多摩川で貨ポート屋を経営してきた「たまり屋」の屋形船について、保管・管理を図るため古民家園に移設し、一般公開した。 ・市が所有する文化財の保管・管理・活用のため、白根記念渋谷区郷土博物館・文学館と山梨県北杜市白州の市有地を視察し、収蔵・展示場所の検討を進めた。
---	--	--

取組内容					■ 関連する予算事業	
R3	(事業費 6,019 千円)	R4	(事業費 6,019 千円)	R5	(事業費 6,019 千円)	文化財専門委員関係費（社会教育課） 文化財保護関係費（社会教育課） 埋蔵文化財保護関係費（社会教育課）
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財総合調査の実施 ・市文化財の指定と指定に向けた調査検討 ・埋蔵文化財の試掘調査、発掘調査、立会調査 ・市が所蔵する文化財の保管管理 ・文化財の収蔵・展示・活用の場の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財総合調査の実施 ・市文化財の指定と指定に向けた調査検討 ・埋蔵文化財の試掘調査、発掘調査、立会調査 ・市が所蔵する文化財の保管管理 ・文化財の収蔵・展示・活用の場の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財総合調査の実施 ・市文化財の指定と指定に向けた調査検討 ・埋蔵文化財の試掘調査、発掘調査、立会調査 ・市が所蔵する文化財の保管管理 ・文化財の収蔵・展示・活用の場の検討 				

5-2-1	誰もが粕江の歴史を身近に感じられるような取組みを推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	--------------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・兜塚古墳や教育発祥の地をはじめとする市が管理する古墳及び史跡等の維持・管理を行う。 ・猪方小川塚古墳公園・亀塚古墳公園・土屋塚古墳公園の維持・管理・公開を行うとともに、今後の古墳公園の整備について、整備内容を検討していく。 ・文化財説明板の設置・更新、文化財マップの配布などを通じて、市内の史跡・文化財に気軽に触れることができるような情報提供を行う。 ・古民家園の維持管理・公開を行うとともに、古民家園の有効的な活用策を検討していく。 	計画期間終了時点における到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・市が所有する史跡や古墳公園が、良好な状態で維持・管理されている。 ・白井塚古墳が公園として整備され、兜塚古墳の外周整備が進んでいる。 ・文化財説明板の設置・更新が進み、市内の文化財等を巡る散策ルートが定着している。 ・古民家園が良好な状態で維持・管理、より活用されている。 	前年度までの取組状況（成果） <ul style="list-style-type: none"> ・市が管理する古墳及び史跡等の維持・管理を行うとともに、平成31年度に保護・保存・活用のため所有者との間に協定を結んだ万葉歌碑について、4月からその周辺の維持・管理を始めた。 ・4月に猪方小川塚古墳公園と亀塚古墳公園を開園し、古墳を適切に維持・管理するとともに、公園として活用を始めた。また、土屋塚古墳の公園整備を進めた。 ・白井塚古墳の公園整備のための基礎資料を得るため試掘調査を行うとともに、同古墳西側擁壁の設計について、整備課と調整を進めた。 ・兜塚古墳の外周整備の検討を進めるため、同古墳の外周の高木について樹木診断を行い、樹勢樹形を確認した。 ・9月に文化財指定した寛文二年（1662年）銘の石造供養塔と古民家園に移設した屋形船について、文化財説明版を設置した。また、平成31年度に作成した粕江市文化財散策マップや歩こう！粕江の古墳のパンフレットを配布し、市内の史跡や文化財を巡る散策ルート等の情報提供を行った。
---	---	--

取組内容					■ 関連する予算事業	
R3	(事業費 17,775 千円)	R4	(事業費 33,475 千円)	R5	(事業費 17,775 千円)	文化財保護関係費（社会教育課） 歴史公園維持管理費（社会教育課） 古民家園管理運営費（社会教育課）
<ul style="list-style-type: none"> ・市が所有する史跡や古墳公園の維持・管理・公開 ・文化財説明板の設置・更新、文化財マップの配布活用 ・白井塚古墳の公園整備の検討（設計）（整備課） ・兜塚古墳の外周整備の検討 ・古民家園の維持・管理・公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・市が所有する史跡や古墳公園の維持・管理・公開 ・文化財説明板の設置・更新、文化財マップの配布活用 ・白井塚古墳の公園整備（整備課） ・兜塚古墳の外周整備 ・古民家園の維持・管理・公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・市が所有する史跡や古墳公園の維持・管理・公開 ・文化財説明板の設置・更新、文化財マップの配布活用 ・古民家園の維持・管理・公開 				

5-3-1	地域に伝わる文化を生かした事業を推進します。	担当課	学校教育課	教育支援課	指導室	社会教育課	公民館	図書館
-------	------------------------	-----	-------	-------	-----	-------	-----	-----

施策の具体的内容・展開の方向性・ねらい	計画期間終了時点における到達目標	前年度までの取組状況（成果）
<ul style="list-style-type: none"> 文化財保存事業費補助事業を通じて、地域に残る伝統芸能であるおはやしの継承を支援していく。 古民家園において、地域の伝統的な生活様式や伝統芸能，伝統文化に触れるような事業（鑑賞会・教室等）を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内に残るおはやしが，しっかり継承されている。 古民家園における伝統文化に関する教室・講座・鑑賞会等が十分定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> おはやしの保存・継承に取り組む2団体に補助金を交付し，地域に残る伝統芸能の保存・継承を支援した。 伝統芸能に触れる機会として，古民家園で3月に実施した「むいから・狛江春まつり」にて能楽の鑑賞会等を催し，298人の入園者があった。

取組内容			■関連する予算事業
R3 (事業費 1,551 千円)	R4 (事業費 1,551 千円)	R5 (事業費 1,551 千円)	文化財保存事業費補助（社会教育課） 古民家園管理運営費（社会教育課）
<ul style="list-style-type: none"> おはやし保存会への補助金の交付 古民家園における伝統文化の鑑賞会，教室・講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> おはやし保存会への補助金の交付 古民家園における伝統文化の鑑賞会，教室・講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> おはやし保存会への補助金の交付 古民家園における伝統文化の鑑賞会，教室・講座の実施 	

■ 「持続可能な社会」（SDG s）の実現に向けた取組み

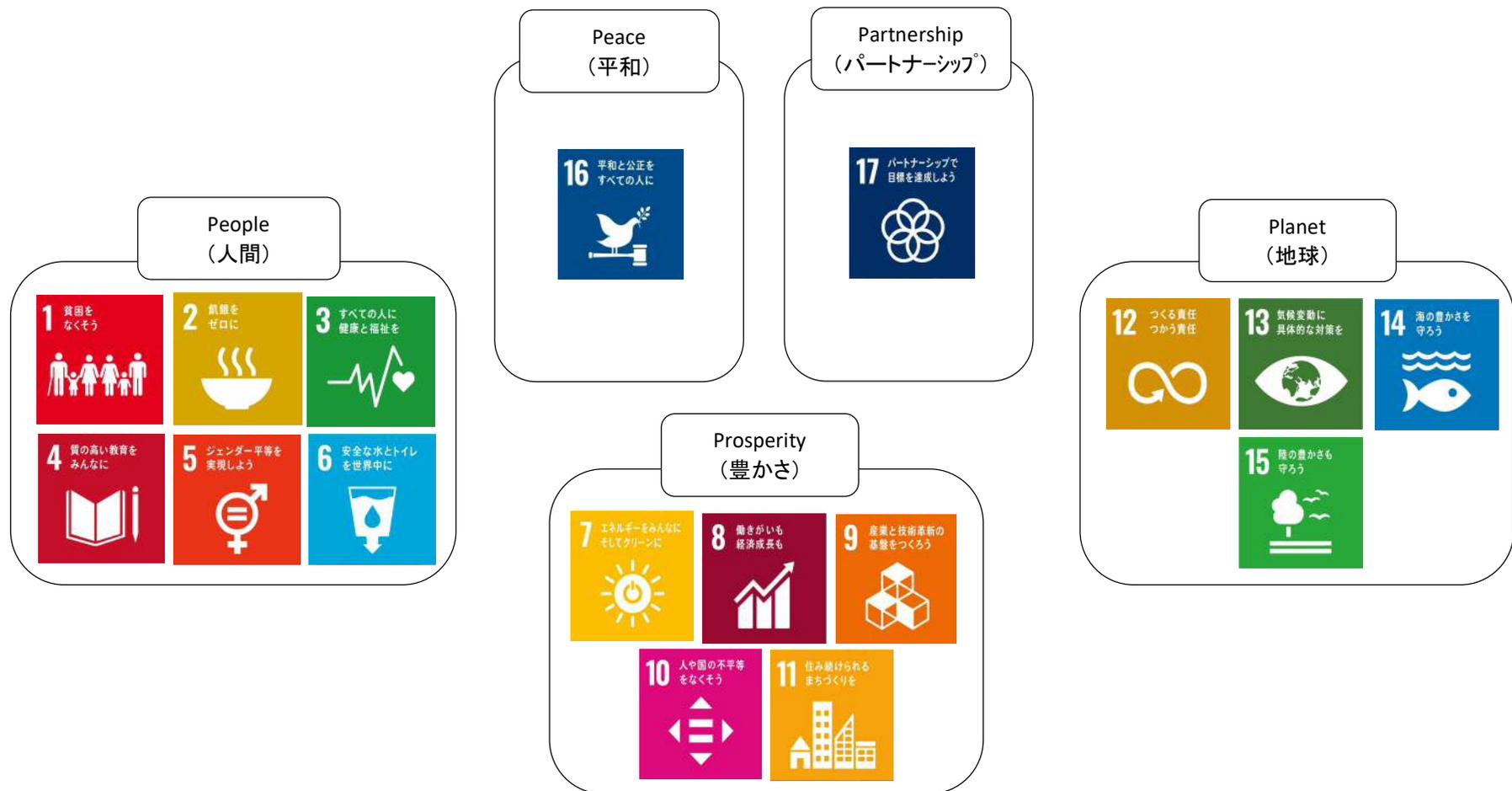
1. 「SDG s」とは

「SDG s」とは「持続可能な社会」の実現に向けて、2030年までに達成すべき国際社会共通の目標です。5分野において、17の目標と169のターゲット（具体的目標）で構成されています。 狛江市第3期教育振興基本計画においても、次世代を担う子どもたちがはぐくむべき「生きる力」の一つとして取組みを進めていくこととしています。

2. 「SDG s」から見た実施計画の取組み

「持続可能な社会」に向けた取組みは、子どもたちの教育の推進に限らず、社会全体の取組みとして求められています。ここでは、実施計画に定めた個別施策を「SDG s」の観点から整理し、計画期間中における「持続可能な社会」に向けた取組みを明らかにしています。

3. 「SDG s」の5分野・17の目標



基本方針	個別施策	コード/SDGs	人間						豊かさ					地球					平和	パートナ シップ	担当課
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
(1)生きる力をはぐくむ質の高い学校教育の推進	①生命と人格・人権を尊重する態度の育成	1-1-1	○			○	○					○						○	○	指導室	
		1-1-2				○						○							○	○	指導室
		1-1-3				○						○							○		指導室
	②生涯に渡って生きて働く力の育成	1-2-1				○															指導室
		1-2-2		○	○	○													○		学校教育課 指導室
		1-2-3				○			○	○	○	○		○					○	○	指導室
		1-2-4				○				○					○	○	○	○	○	○	指導室
		1-2-5				○													○		教育支援課 指導室
	③国際社会で活躍できる力の育成	1-3-1				○													○		指導室
		1-3-2				○								○						○	指導室 社会教育課
		1-3-3				○														○	学校教育課 教育支援課 指導室 社会教育課
	(2)家庭・地域との協働による学校教育の推進	①開かれた学校づくり	2-1-1																	○	学校教育課 指導室
2-1-2						○														○	指導室
2-1-3						○														○	学校教育課 指導室 社会教育課
2-1-4					○	○	○						○							○	教育支援課 指導室
②家庭・地域の人材や教育資源の活用		2-2-1				○														○	指導室 社会教育課
		2-2-2				○														○	指導室 社会教育課
(3)教育環境の整備	①安心安全な学校生活のための環境整備	3-1-1				○													○	教育支援課 指導室	
		3-1-2				○														○	指導室 社会教育課
		3-1-3				○					○									○	学校教育課 指導室
		3-1-4												○					○		学校教育課 社会教育課
		3-1-5				○								○							学校教育課 (施設課)
		3-1-6		○	○	○														○	学校教育課

基本方針	個別施策	コード/SDGs	人間						豊かさ					地球				平和	パートナ シップ	担当課
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
(3)教育環境 の整備	②学習環境の整備	3-2-1				○					○								○	指導室
		3-2-2				○													○	指導室 図書館
	③個に応じた教育の実現に向けた環境整備	3-3-1			○	○													○	教育支援課 指導室
		3-3-2			○	○						○							○	学校教育課 教育支援課 指導室
		3-3-3			○	○							○						○	教育支援課 指導室
(4)生涯を通じた学 びの充実	①学びの環境づくり	4-1-1				○							○						公民館	
		4-1-2				○							○						社会教育課 公民館 図書館	
	②生涯を通じた学びの実現	4-2-1								○			○						社会教育課 公民館	
		4-2-2				○													図書館	
	③学びを活かす機会の充実	4-3-1				○												○	社会教育課 公民館 図書館	
	④スポーツへの参加機会の充実	4-4-1			○	○												○	指導室 社会教育課	
	⑤ライフステージに応じたスポーツの推進	4-5-1			○	○												○	社会教育課	
		4-5-2			○														○	社会教育課
(5)歴史への 理解と継承	①歴史の継承・文化財の保存	5-1-1				○							○						指導室 社会教育課	
		5-1-2											○						社会教育課	
	②文化財の活用の推進	5-2-1				○													社会教育課	
	③伝統文化の保存と活用	5-3-1											○						社会教育課	

參考資料

1. 第3期狛江市教育振興基本計画の策定

(1) 経緯

第2期狛江市教育振興基本計画（以下「第2期計画」という。）は、狛江市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が定めた教育目標の達成に向け、平成27年から31年度までの5年間において取り組むべき施策の方向性と取組方針等を定めたものです。教育基本法第17条第2項に規定する「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」として、また狛江市後期基本計画に基づく狛江市の教育分野のマスタープランとして、平成26年11月に策定しました。

その後平成27年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に規定する狛江市の教育分野における総合的な施策大綱（狛江市教育大綱）としての位置付けも付与され、市の教育行政全般を推進する計画となりました。

平成31年度第2期計画が、終期を迎えるとともに、計画策定にあたり参酌すべきと定められている国の教育振興基本計画及び東京都の教育ビジョンが改定されたことに加え、狛江市の将来都市像を示す基本構想並びに基本計画が新たに策定されることとなったことからそれらを踏まえ、改定を行うこととしました。

(2) 改定に向けた考え方

- 計画の名称は、「第3期狛江市教育振興基本計画」とし、計画期間は、令和2年度から令和6年度までの5か年とします。ただし、急激な社会情勢の変化や関連計画の改定等により、市の教育行政を取り巻く環境に著しい変化が生じたときには、計画の見直しも含め、柔軟に対応するものとします。
- 第2期計画同様、教育の振興のための施策に関する基本的な計画（教育基本法第17条第2項）、狛江市第4次基本構想前期基本計画に基づく教育分野のマスタープラン、狛江市の教育等における総合的な施策大綱（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3）としての位置付けを持つものとし、市の教育分野以外の各種計画と整合性を図るほか、国や都の関連計画も参酌し、関係部局や他の行政機関の取組みとも調和しながら、市の教育行政全般を推進する計画として策定するものとします。

(3) 全体方針

- 教育理念及び教育目標については、教育委員会が目指すべき将来像として第3期狛江市教育振興基本計画においても引き継ぎつつ、狛江市を取り巻く現状や今後の課題への対応等社会の変化を見据えた狛江市の教育施策のあり方を示すものとします。
- 計画期間において教育目標実現に向けて取り組む方向性を明確化するため、基本方針を定め、基本方針ごとに取り組むべき施策と担当課における今後の取組みの参考となるように施策展開の方向性を明示するものとします。
- 国及び都の関連計画を参酌するとともに、新たに策定された狛江市第4次基本構想及び狛江市前期基本計画との整合性を図り、市長部局と教育委員会が一体となり、連携・共有しながらより実効性のある施策を展開できるようにするものとします。

(4) 狛江市教育委員会 教育理念

教育委員会や教育機関のみならず、市の関係部局や関係機関、家庭、地域、事業者、NPOなど、教育に関わる活動を実践するすべての主体が共有する理念として、平成23年の第1期狛江市教育振興基本計画（以下「第1期計画」という。）において策定された教育理念を踏襲し、第2期計画において以下のように定められました。

○ 未来を担う子どもたち一人ひとりが、人格の形成と互いの個性の尊重を基本として、地域や社会の中で自立し健康で幸福に生きていく力を身につけ、狛江で受けた教育を誇りとして、少数者の立場も尊重し、自由に意見を交わして真理を探求し、平和で心豊かな明るい相互扶助の社会を築き発展させる力を身につける教育の実現を図る。

○ 市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現を図る。

(5) 狛江市教育委員会 教育目標

教育理念の実現に向けて、教育委員会と関係機関が取り組むすべての事柄における基本的な目標として、平成23年の第1期計画において策定された教育目標の基本的な考え方を踏襲し、第2期計画において以下のように定められました。

- (1) 互いの生命と人格・人権を尊重し、地域や社会に貢献する意識の醸成
- (2) 確かな学力の定着と個々の能力や創造力を伸ばし、郷土や国を愛する心をはぐくむ学校教育の充実
- (3) すべての世代にわたる市民のための学習環境と運動環境の整備

(6) 第3期教育振興基本計画 体系

第3期教育振興基本計画		
基本方針	施策	施策展開の方向性
(1) 生きる力をはぐくむ高い学校教育の推進	① 生命と人格・人権を尊重する態度の育成	・平和を願い、互いの生命や人格・人権を尊重し、他者を思いやる心をはぐくむ人権教育を推進します。
		・道徳的な判断力や心情、実践意欲・態度の向上に資する道徳教育を推進します。
		・いじめ防止や自殺対策に資する教育を推進します。
	② 生涯に渡って生きて働く力の育成	・新学習指導要領の主旨を踏まえた、確かな学力の定着と個々の能力の伸張を図ります。
		・健康の保持・増進、体力の向上を図る教育を推進します。
		・共に社会をつくり支える資質・能力の向上に資する教育を推進します。
		・社会の変化に対応し、よりよい未来を自ら切り開く力をはぐくむ教育を推進します。
		・学校内外における生活全般に関する安全教育をより一層推進します。
	③ 国際社会で活躍できる力の育成	・グローバルに活躍できる資質・能力を伸ばす教育を推進します。
		・日本や狛江市の伝統・文化の理解を促進し、国や郷土を愛する心の涵養を図ります。
		・芸術や狛江らしい文化活動に身近に触れる機会を提供し、情操・芸術教育を推進します。
	(2) 家庭・地域との協働による学校教育の推進	① 開かれた学校づくり
・学校評価を積極的に活用し、教育活動の改善・充実を図ります。		
・地域の特性を生かした協働のあり方を検討し、地域との連携・協働を推進します。		
・家庭の実情に合った協働のあり方を検討し、家庭と協働して生きる力をはぐくみます。		
② 家庭・地域の人材や教育資源の活用		・専門家や地域人材の活用を図り、部活動をはじめとする教育活動等の充実や関係部局・機関との連携を推進します。
		・地域の願いや子どもたちの声を生かした学校経営を推進します。
		・研修及び教育研究への支援を充実し、教員の資質・能力の向上を図ります。
		・学校の創意を生かし、子どもや保護者、地域にとって魅力ある学校づくりを推進します。
(3) 教育環境の整備	① 安心安全な学校生活のための環境整備	・持続可能な学校指導体制づくりを推進します。
		・児童・生徒の安全確保に向けた支援体制の充実を図ります。
		・学校施設の計画的改修と修繕を推進します。
		・安心安全な給食の提供に向けた取組みを推進します。
		・情報機器やデジタル教材等を活用し、効果的な学習指導の充実を図ります。
		・学校図書館の機能を強化・充実させ、市立図書館との積極的な連携を推進します。
	② 学習環境の整備	・いじめ・不登校等に対する組織的な対応を推進します。
		・外国籍や障がいのある子ども等支援が必要な児童・生徒への支援の充実を図ります。
	③ 個に応じた教育の実現に向けた環境整備	・特別支援教育の環境整備を一層進め、個に応じた指導・支援の充実を図ります。

第3期教育振興基本計画		
基本方針	施策	施策展開の方向性
(4) 生涯を通じた学びの充実	① 学びの環境づくり	・公民館の利用しやすい環境整備を進め、地域における学びや居場所の充実を図ります。
		・地域の身近な場所で学ぶことができる環境の充実を図ります。
	② 生涯を通じた学びの実現	・世代を超えた交流や仲間づくり活動ができる機会の充実を図ります。
		・図書館の利便性や利用率の向上を図るとともに、図書資料の充実・機能強化に向けた検討を行います。
	③ 学びを活かす機会の充実	・市民が自らの経験を活かし、活躍できる仕組みを検討します。
	④ スポーツへの参加機会の充実	・スポーツを楽しむきっかけをつくるとともに、スポーツ活動への興味・関心を高め、参加と仲間づくりを推進します。
⑤ ライフステージに応じたスポーツの推進	・障がい者スポーツを含めた生涯スポーツの推進を図り、体力向上や生きがいづくりにつなげます。	
	・個人や団体の育成、スポーツ指導員の資質向上を図るとともに、体育施設の計画的な改修等を行います。	
(5) 歴史への理解と継承	① 歴史の継承・文化財の保存	・粕江の歴史を身近に感じ、粕江への愛着や歴史に関心を持つきっかけづくりを行います。
		・文化財等を適切に保管、継承しつつ、効果的に公開・活用できるような保管・展示場所の確保について、具体的に検討します。
	② 文化財の活用の推進	・誰もが粕江の歴史を身近に感じられるような取組みを推進します。
	③ 伝統文化の保存と活用	・地域に伝わる文化を生かした事業を推進します。

「基本方針」・・・・・・・・ 教育目標を実現するための基本的な姿勢や考え方
「施策」・・・・・・・・ 「基本方針」の実現に向けて取り組む施策
「施策展開の方向性」・・ 「施策」を具体的に進めるための方向性

2. 予算・庶務関係

(1) 予算額推移(当初予算)

(単位:千円)

		令和3年度	令和2年度	31年度	30年度	29年度	28年度
一般会計歳出総額		30,320,000	29,929,000	28,598,000	28,406,000	26,690,000	26,588,000
教育費歳出総額		4,525,565	4,233,388	2,786,547	2,928,452	2,382,133	2,776,466
教育費の割合		14.9%	14.1%	9.7%	10.3%	8.9%	10.4%
教育費内訳	教育総務費	520,541	462,140	451,606	385,242	362,115	374,749
	小学校費	1,644,030	1,269,974	747,569	879,586	591,238	924,381
	中学校費	904,846	1,226,770	544,082	410,119	384,206	488,619
	幼児教育費	481,859	486,592	234,337	241,365	223,481	243,253
	社会教育費	842,004	619,632	667,851	898,107	648,998	633,705
	保健体育費	132,285	168,280	141,102	114,033	172,095	111,759

※端数処理の関係上、合計額が合わない場合がある。

(2) 基礎数値 (特別支援学級を含む)

令和3年5月1日現在

人口		面積	学校数		児童生数		学級数	
			小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
住基 (外国人を含む)	人 83,300	K m ² 6.39	校 6	校 4	人 3,701	人 1,365	学級 125	学級 45

(3) 教育委員会会議の状況

区分 年度	会議回数	議案件数			
		総数	可決	否決	その他
H28	13	50	50		
H29	13	45	45		
H30	13	36	36		
H31	13	64	64		
R2	14	42	42		

3. 児童・生徒数、学級数及び教員数

(1) 児童・生徒数の推移(全体)

小学校

各年度5月1日現在

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
学校数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
学級数	103	104	107	106	109	108	105	108	109	110	111	116	121	125
児童数計	3,228	3,246	3,257	3,180	3,194	3,158	3,183	3,244	3,246	3,267	3,394	3,518	3,622	3,701
男	1,672	1,678	1,705	1,641	1,659	1,614	1,632	1,675	1,664	1,702	1,741	1,818	1,861	1,882
女	1,556	1,568	1,552	1,539	1,535	1,544	1,551	1,569	1,582	1,565	1,653	1,700	1,761	1,819

中学校

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
学級数	38	39	40	43	44	43	42	42	41	43	44	42	41	45
生徒数計	1,213	1,222	1,271	1,371	1,375	1,375	1,316	1,331	1,349	1,360	1,320	1,286	1,289	1,365
男	638	650	661	720	715	743	706	721	725	695	677	641	671	713
女	575	572	610	651	660	632	610	610	624	665	643	645	618	652

(2) 小学校別児童数の推移

各年度5月1日現在

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
狛江第一 小学校	(15) 569	(13) 596	(16) 614	(19) 618	(23) 664	(19) 724	(27) 779	(26) 807
狛江第三 小学校	<23> 462	<24> 465	<35> 440	<41> 446	[3]<45> 473	[5]<56> 481	[7]<50> 503	[4]<59> 540
狛江第五 小学校	502	507	496	549	562	605	615	641
狛江第六 小学校	515	522	530	525	533	545	552	552
和泉 小学校	<35> 545	<34> 571	<45> 581	<45> 573	<46> 577	<47> 578	<53> 555	<66> 541
緑野 小学校	(11)<59> 564	(13)<65> 557	(13)<72> 556	(11)<86> 526	(11)<83> 548	(17)<92> 544	(23) <102> 561	(27) <98> 563
合計	3,157 (26)<117> 3,183	3,218 (26)<123> 3,244	3,217 (29)<152> 3,246	3,237 (30)<172> 3,267	3,357 (34)<174> [3]3,394	3,477 (36)<195> [5]3,518	3,565 (50)<205> [7]3,622	3,644 (53)<223> [4]3,701

* ()内は知的障がい学級で外数 * []内は情緒障がい特別支援学級で外数

* < >内は通級の情緒障がい学級で内数(平成28年度から特別支援教室)

(3) 中学校別生徒数の推移

各年度5月1日現在

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
狛江第一 中学校	(20) 307	(22) 324	(22) 354	(22) 370	(24) 362	(23) 366	(21) 364	(14) 396
狛江第二 中学校	<3> 426	<6> 441	<18> 437	<29> 420	<40> 417	<43> 394	<48> 405	<54> 397
狛江第三 中学校	240	244	244	266	247	258	244	[4] 280
狛江第四 中学校	323	300	292	282	270	245	255	274
合計	1,296 (20)<3> 1,316	1,309 (22)<6> 1,331	1,327 (22)<18> 1,349	1,338 (22)<29> 1,360	1,296 (24)<40> 1,320	1,263 (23)<43> 1,286	1,268 (21) <48> 1,289	1,347 (14)[4] <54> 1,365

* ()内は知的障がい学級で外数 * []内は情緒障がい特別支援学級で外数

* < >内は通級の情緒障がい学級で内数(平成30年度から特別支援教室)

(4) 学校学級別児童・生徒数

令和3年5月1日現在

小学校										中学校						
	学級数	総数	通常学級						特別支援 固定学級	学級数	生徒数	通常学級			特別支援 固定学級	
			1年	2年	3年	4年	5年	6年				1年	2年	3年		
総数		125	23	22	18	19	17	17	9		45	14	14	14	3	
	児童数	3,701	661	647	611	620	554	551	57		1,347	464	452	431	18	
狛江第一 小学校	学級数	28	5	5	4	4	3	3	4	狛江第一 中学校	学級数	14	4	4	4	2
	児童数	833	153	153	145	129	113	114	26		生徒数	410	138	128	130	14
狛江第三 小学校	学級数	18	4	4	2	3	2	2	1	狛江第二 中学校	学級数	12	4	4	4	-
	児童数	544	114	106	79	100	69	72	4		生徒数	397	133	142	122	-
狛江第五 小学校	学級数	20	4	3	3	3	4	3	-	狛江第三 中学校	学級数	10	3	3	3	1
	児童数	641	115	93	116	106	126	85	-		生徒数	284	104	85	95	4
狛江第六 小学校	学級数	18	3	3	3	3	3	3	-	狛江第四 中学校	学級数	9	3	3	3	-
	児童数	552	84	89	88	92	87	97	-		生徒数	274	93	97	84	-
和泉 小学校	学級数	18	3	3	3	3	3	3	-							
	児童数	541	88	89	88	92	87	97	-							
緑野 小学校	学級数	23	4	4	3	3	2	3	4							
	児童数	590	107	106	88	99	72	91	27							

(5) 教員数

令和3年5月1日現在

小学校							中学校				
総数	狛江第一 小学校	狛江第三 小学校	狛江第五 小学校	狛江第六 小学校	和泉 小学校	緑野 小学校	総数	狛江第一 中学校	狛江第二 中学校	狛江第三 中学校	狛江第四 中学校
197	38	32	27	25	33	42	96	27	29	21	19

4. 特別支援教育

① 特別支援学級

固定学級 児童・生徒数の推移

各年度5月1日現在

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
小学校	22	28	23	28	32	33	26	26	29	30	37	41	57	57
中学校	25	19	23	21	22	17	20	22	22	22	24	23	20	18

小学校特別支援学級 児童数・学級数

令和3年5月1日現在

学校名	学級名	児童数								学級数
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計		
狛江第一小学校	いずみ学級	5	4	2	4	4	7	26	4	
狛江第三小学校	あおば学級	0	0	0	1	1	2	4	1	
緑野小学校	えのき学級	5	5	8	5	2	2	27	4	

中学校特別支援学級 生徒数・学級数

令和3年5月1日現在

学校名	学級名	生徒数				学級数
		1年	2年	3年	合計	
狛江第一中学校	1組	5	5	4	14	2
狛江第三中学校	E組	4	0	0	4	1

② 特別支援教室

特別支援教室(通級指導学級) 児童・生徒数の推移

各年度5月1日現在

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3
小学校	48	56	57	65	59	74	97	117	123	152	172	174	195	205	223
中学校	14	15	15	16	16	7	9	3	6	18	29	40	43	48	54

※平成28年度から小学校は特別支援教室利用児童数

※平成30年度から中学校は特別支援教室利用生徒数

小学校特別支援教室 児童数 令和3年5月1日現在

学校名	学級名	児童数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
狛江第三小学校	ひまわり教室	2	4	5	7	5	6	29
狛江第六小学校	ひまわり教室	2	4	2	6	10	6	30
狛江第一小学校	けやき教室	6	4	9	4	7	5	35
和泉小学校	けやき教室	2	5	6	7	4	7	31
狛江第五小学校	ふたば教室	3	7	5	6	12	15	48
緑野小学校	ふたば教室	5	11	7	8	9	10	50

中学校特別支援教室 生徒数 令和3年5月1日現在

学校名	学級名	生徒数			
		1年	2年	3年	合計
狛江第一中学校	くすのき教室	8	3	7	18
狛江第二中学校	くすのき教室	4	8	4	16
狛江第三中学校	くすのき教室	3	3	2	8
狛江第四中学校	くすのき教室	3	5	4	12

5. 社会教育

(1) 埋蔵文化財年度別発掘調査及び立会件数

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2
発掘調査	8(2)	9(3)	5	12(2)	13(3)	10(1)	10(3)
本調査	2(3)	3(3)	0	0	4(3)	3(1)	3(3)
確認調査	6	6	5	12(1)	9	7	7
立 会	57	55	46	51	43	67	66

※調査件数のうち()内は事業者負担で実施した件数(内数)

(2) 体育施設利用件数

施設名	H28	H29	H30	H31	R2	利用者数 (延人数)
市民グランド	1,020 件	926 件	962 件	1,053 件	1,028 件	55,005 人
多摩川緑地公園グランド	1,554 件	1,335 件	1,482 件	732 件	-	-
西和泉グランド	825 件	852 件	895 件	563 件	702 件	15,691 人
西和泉体育館	1,325 件	1,329 件	1,363 件	1,075 件	1,002 件	13,849 人
市民テニスコート(東野川,元和泉)	7,491 件	7,495 件	7,336 件	7,429 件	6,149 件	25,824 人
市民プール(単位:延人数)	19,260	18,905	22,146	20,913	-	-
市民総合体育館(単位:延人数)	185,264	226,581	213,189	192,994	101,188	-

※多摩川緑地公園グランドは、令和元年東日本台風の影響により中止

※市民プールは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(3) スポーツ教室・大会の開催状況(R2年度)

スポーツ教室・大会名	開催 日数	参加 者数	スポーツ教室・大会名	開催 日数	参加 者数
成人スポーツ教室	5	52	少年野球大会	11	215
卓球教室	-	-	少年少女サッカー大会	-	-
フットサル教室	-	-	少年少女綱引き大会	-	-
バスケットボール教室	-	-	少年少女剣道大会	-	-
綱引き教室	-	-	市民スポーツ大会	14	941
バドミントン教室	-	-	市民スポレク大会	2	107
ビーチボール教室	6	76	障がい者スポーツ教室	6	25
タグラグビー教室	-	-	多摩川スポーツ教室	3	58

※「-」表示のスポーツ教室・大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止

(4) 古民家園入園者数

	H27	H28	H29	H30	H31	R2
開園日数	308 日	306 日	306 日	306 日	299 日	254 日
入園者数	25,722 人	25,533 人	22,270 人	20,012 人	22,663 人	12,639 人

6. 公民館

(1) 中央公民館利用状況(R2年度)

		利用状況 (件)	利用件数 うち目的 外	利用率 (%)	月平均 利用件数 (件)	利用者数 (人)	月平均 利用者数 (人)
総 数		4,314	4	57.4	360	37,985	3,166
内 訳	第一会議室	396	1	52.7	33	2,862	239
	第二会議室	313	1	41.6	26	1,695	141
	第三会議室	428	0	56.9	36	2,233	186
	第四会議室	540	0	71.8	45	4,964	414
	講座室	451	2	60.0	38	5,561	463
	和室	504	0	67.0	42	3,575	298
	ホール	553	0	73.5	46	8,807	734
	視聴覚室	519	0	69.0	43	4,969	414
	料理実習室	211	0	28.1	18	1,663	139
	美術工芸室	399	0	53.0	33	1,656	138

※開館日数 264 日(貸出日数 264 日)※保育室 107 件

※祝日開館により部屋別に一部使用制限等あり。

※陶芸窯 47 件(1工程につき1件とする。)

※新型コロナウイルス感染症の影響により 59 日間の臨時休館あり

(2) 西河原公民館利用状況(R2年度)

		利用状況 (件)	利用件数 うち目的 外	利用率 (%)	月平均 利用件数 (件)	利用者数 (人)	月平均 利用者数 (人)
総 数		3,057	27	37.5	255	24,390	2,033
内 訳	視聴覚室	574	0	77.5	48	3,009	251
	リハーサル室	0	0	0.0	0	0	0
	多目的ホール	490	2	66.1	41	7,477	623
	料理実習室	127	0	17.1	11	697	58
	茶室	145	2	19.6	12	775	65
	和室	456	1	61.5	38	2,820	235
	学習室Ⅰ	289	11	39.0	24	3,822	319
	学習室Ⅱ	317	5	42.8	26	2,517	210
	学習室Ⅲ	221	6	29.8	18	1,286	107
	生活工芸室	288	0	38.9	24	1,756	146
	暗室	150	0	20.2	13	231	19

※開館日数 259 日(貸出日数 259 日)

※陶芸窯 23 件(1工程につき1件とする。) 幼児室 70 件

※新型コロナウイルス感染症の影響により 59 日間の臨時休館あり

※リハーサル室は、新型コロナウイルス感染症の影響により貸出していない

(3) 公民館事業等の利用状況(R2年度)

実施事業名	実施回数	参加者数
初心者のための囲碁教室	6	68
子どもの実験教室	18	187
狛江市青年教室「初心者向け家族でDIY講座」「水引でストラップを作ろう」	2	19
チャレンジ青年学級	15	116
連続講座「ポスト・コロナの居場所づくりを考える」	3	96
市民ゼミナール「狛江のいま・これから」	7	56
趣味教養講座「プロが教える！似顔絵講座」	1	11
いきいき子育てルーム	27	363
保育室学習会	6	67
学習グループ保育	43	67
日本語教室	18	518
西河原映画会	3	97
スマホ講座	6	53
パソコン室一般開放	6	19
おはなし会	29	209

実施事業名	実施回数	参加者数
市民大学 東京ディズニーランドの挑戦	1	22
市民大学 『世界はどうなる 日本はどうなる』 ～コメンテーターの視点～	1	36
市民大学 『揺れる中国 混迷の新時代』	1	27
市民大学 新春日本の芸能 新春寿ぎ松囃子と言祝ぎのお話	1	35
市民大学 歴史秘話 杉原千畝の“命のビザ”の謎 ソ連共産党政治局の秘密決定	1	33
市民大学 メガクライシス = 第1回 = 地球史 ダイナミックな地球	1	35
市民大学 メガクライシス = 第2回 = 海の嘆き 海洋廃プラスチック汚染の現状	1	36
市民大学 メガクライシス = 第3回 = 地球環境連続講座 地球温暖化加速する異常気象	1	33
市民大学 メガクライシス = 第4回 = 地球の危機 宇宙から見た地球 ～地球を守ろう、宇宙を守ろう～	1	34

7. 図書館

図書館・西河原公民館図書室・地域センター図書室利用状況(個人)

年度施設名		H27	H28	H29	H30	H31	R2
中央図書館	蔵書冊数	167,972	170,663	169,314	169,715	170,749	173,994
	貸出冊数	311,600	316,414	323,596	339,000	326,364	265,560
	登録者数	22,599	22,407	18,479	18,887	18,626	17,949
野川地域センター 図書室	蔵書冊数	22,342	22,816	23,215	22,734	22,466	23,102
	貸出冊数	44,557	42,668	40,544	41,500	21,591	28,855
	登録者数	1,768	1,752	1,406	1,369	1,305	1,247
上和泉地域 センター図書室	蔵書冊数	26,286	26,120	26,493	26,661	26,782	27,206
	貸出冊数	30,027	29,062	32,882	34,327	35,573	23,088
	登録者数	1,254	1,219	972	928	927	840
岩戸地域センター 図書室	蔵書冊数	20,060	20,250	20,712	20,817	21,008	21,701
	貸出冊数	46,835	47,420	48,599	49,094	51,365	41,162
	登録者数	1,492	1,507	1,253	1,333	1,462	1,329
南部地域センター 図書室	蔵書冊数	20,453	20,684	20,880	21,065	21,331	21,141
	貸出冊数	36,250	33,741	34,629	35,347	35,626	30,421
	登録者数	1,564	1,517	1,189	1,249	1,219	1,172
西河原公民館 図書室	蔵書冊数	36,036	34,722	33,869	32,280	32,289	32,654
	貸出冊数	49,384	46,786	44,545	32,001	45,074	35,314
	登録者数	2,507	2,480	1,931	1,809	1,796	1,691
合計	蔵書冊数	293,149	295,255	294,483	293,272	294,625	299,798
	貸出冊数	518,653	516,091	524,795	531,269	515,593	424,400
	登録者数	31,184	30,882	25,230	25,575	25,335	24,228

※岩戸地域センター図書室は改築工事のため、平成25年12月1日から平成27年3月31日まで休室

※西河原公民館図書室は改修工事のため、平成30年5月10日から7月31日まで休室

※野川地域センター図書室は改修工事のため、令和元年8月1日から令和2年1月31日まで休室

※新型コロナウイルス感染症の影響により、中央図書館は令和2年2月29日から令和2年3月27日まで予約本受取対応のみとし、貸出室・調査室立ち入り不可。また令和2年3月28日から令和2年5月31日まで、全館・室で臨時休館(室)

登録番号 R3-20

狛江市教育大綱

- ・第3期狛江市教育振興基本計画実施計画
(令和3年度ローリング版)

令和3年7月発行

発行 狛江市・狛江市教育委員会

編集 狛江市教育委員会教育部学校教育課

狛江市和泉本町一丁目1番5号

印刷 庁内印刷

頒布価格 60円